

令和7年度

「町民と議員との懇談会」

【実施報告書】

令和8年2月

～分かりやすく町民が参加する議会～

福島町議会

令和7年度「町民と議員との懇談会」

- 1 「町民と議員との懇談会」説明資料について
令和8年2月1日発行 議会だより第149号
- 2 班体制について

班編成	議員 (◎は班長)	事務局
A班	◎ 佐藤 孝男、熊野 茂夫、平野 隆雄	角谷 里紗
B班	◎ 平沼 昌平、木村 隆、溝部 幸基	熊谷 治子
C班	◎ 藤山 大、小鹿 昭義、杉村 志朗	鍋谷 浩行

※2月6日の班体制

月崎2 ◎ 佐藤孝男、熊野茂夫、平野 隆雄、藤山大、小鹿昭義
塩釜、浦和 ◎平沼昌平、木村隆、溝部幸基、杉村志朗

※2月9日の班体制

緑町、丸山団地 ◎ 佐藤孝男、熊野茂夫、平野隆雄、藤山大
新栄町 ◎ 平沼昌平、木村隆、溝部幸基、小鹿昭義、杉村志朗

日時	町内会	会場	担当議員
2/3 (火) 午後6時～	松浦、吉野	松浦・吉野町内会館	A
	吉田町、館古	役場 (機能回復室)	B
	豊浜、宮歌	宮歌・豊浜町内会館	C
2/4 (水) 午後6時～	吉岡1・2、吉岡3	吉岡総合センター	A
	白符	白符町内会館	B
	上町、本町、川原町	役場 (機能回復室)	C
2/5 (木) 午後6時～	日向1、日向2、日向3	日向町内会館	A
	館崎1、館崎2・3	館崎2・3町内会館	B
	月崎1	月崎1町内会館	C
2/6 (金) 午後6時～	月崎2	月崎2町内会館	A・C
	塩釜、浦和	塩釜町内会館	B・C
2/9 (月) 午後6時～	緑町、丸山団地	福祉センター	A・C
	新栄町	新栄町集会所	B・C
2/10 (火) 午後6時～	三岳1	三岳1町内会館	A
	三岳2	三岳2町内会館	B
	千軒	千軒活性化センター	C

1. 参加状況等

今年度の懇談会は、2月3日（火）から2月10日（火）までの6日間開催され、16会場で延べ76人（男58人、女18人）が出席しました。出席者数の最多は12人、最少は0人、平均4.8人という参加状況となりました。

館崎地区で前年比9名の増となりましたが、全体の参加者数は前年度比1名の減、前年比で参加者数が減となった会場が6か所など、全体的に減少傾向でありました。

2. 開催概要

議会では、議会基本条例第7条第8項の規定に基づき、町民への説明責任を果たし、情報を共有するため「町民と議員との懇談会」を開催しております。

「町民と議員との懇談会」は、全町内会（16会場）を対象に、議員が3班に分かれ開催しており、平成24年度から今回で14回目の開催となりました。

今回の懇談会は、説明資料として「議会だより第149号」を用い、定例会、常任委員会で審議した内容のほか、多岐にわたる分野で意見交換を実施し、参加した町民と情報共有を図ることができました。

3. 意見等の総括

各会場での意見を分類し、その件数と総括を、次のとおり整理しました。

全体 16会場（277件）

今回の懇談会では、「議員のなり手不足や議会改革」について、特別委員会で確認した方向性について町民の皆様から直接ご意見を伺うことを主な目的として開催し、多くの貴重なご意見をいただく事ができました。

議会に関するテーマ以外にも、「除排雪」、「熊対策」、「防災対策」など、多岐にわたる意見が寄せられました。これらの課題は、町の将来に関わる重要なものであり、引き続き議論を重ねていく必要がありますので、町民の声を活かし、一般質問や予算審議、所管事務調査などを通じて具体的な政策提言へとつなげてまいります。

「町民と議員との懇談会」は、町民と直接意見を交わす貴重な場として、今後も継続していくことが重要です。

町民と議会がともにまちづくりを進めるために、今後も対話の機会を大切にし、より多くの町民が参加しやすい環境づくりを検討しながら、議会としての役割を果たしてまいります。

議会 15会場（136件）

議員定数・歳費の見直し、議員のなり手不足、議会改革、議会活動の見える化など、議会の在り方に関する意見が多数寄せられました。

特に議員のなり手不足については、「漁師をはじめ仕事が忙しく、議会に出るとなると暮らしや仕事を捨てることになりかねない」、「地域の後押しがなければ立候補は難しい」、「待っていても若い人は出てこないで、後継者づくりが必要」といった声がありました。あわせて「女性議員がいない」、「女性や若い世代が参画できる環境が必要」との意見も複数見られ、議員からは、これまでも声かけ等を行っているものの、家族の反対や落選時の心理的負担などもあり難しい実情が語られ、参入のきっかけづくりや後継者育成の必要性が示されました。

議会改革に関しては、常任委員会の在り方や会議出席の負担について意見が集中し、「委員会を一つにすると会議が増えて負担が大きいのでは」、「全員参加となると議論しづらくなるのか」、「本会議が質疑なし賛成多数で終わりがちで、議論の見え方を改善すべき」といった指摘がありました。議員からは、現状でも委員外議員としてほぼ全員が両委員会に関わっていること、委員会の機能を重視してきた経緯等が説明されました。今後の体制検討にあたっては審議の場の持ち方として、委員会と本会議の役割や活動負担の整理が課題となっています。

議員定数については、「9名でも8名でもよい」、「10名にこだわらなくてよい」といった意見がある一方、「定数を減らしすぎると、委員会体制が成り立たない」、「何人が適正か分からない」、「選挙がないのはよくない」など、慎重な意見も出されました。議員からは、定数を減らしすぎると運営に支障が出る点や、検討にあたっては町民意見も踏まえながら最終的な決定をする旨の説明を行いました。町の実情に即した適正規模や地域バランスへの言及もあり、現実的な担い手確保策と合わせ、検討を進めてまいります。

歳費については、「議長と副議長の差が大きい」、「基準に基づくなら現状でよい」といった意見のほか、「報酬は上げるべき」、「上げるなら福島町のために真剣に働いてほしい」といった声がありました。議員からは、役職の責任や算定の考え方について説明を行いました。報酬だけで解決しない要因も含めて議論が必要であることが示されたことから、今後も議論してまいります。

議会活動の見える化については、「中継映像が途切れるので、改善してほしい」、「YouTubeなど分かりやすい形にしてはどうか」、「中継や過去映像を見られること自体を知らない人もいるのでは」といった意見がありました。議員からは、アクセス集中等で不具合が出る可能性、後日編集した映像を掲載し

ていること、現在の機器が整備後8年以上経過していることから更新の必要性は認識していることなどの説明を行いました。議会だよりについては、「議案の内容が詳しく分かり助かる」、「少しずつ読みやすくなっている」などの評価があり、今後も周知・広報の工夫を継続してまいります。

このほか、ハラスメント対策や諮問委員・モニター制度の実効性、町民の関心の低さに関する意見もあり、議会としては、なり手確保に向けた環境整備とあわせ、改革の狙い・検討過程をより分かりやすく伝えるなど、信頼と参加につながる取り組みを引き続き検討してまいります。

熊対策 13会場（39件）

昨年ヒグマによる人身事故もあり、熊対策に関する意見が多く寄せられました。電気柵の継続・拡充、草刈り等の環境整備、出没・捕獲情報の周知方法、ハンター体制、誘因物対策としてのゴミ出しルールなどの意見がありました。

特に電気柵については、「昨年の設置で安心感があったため今後も継続してほしい」、「パークゴルフ場など利用者の多い場所にも設置予定があるのか」といった声があり、議員からは、電気柵は効果があったことから今後も継続する方針であること、施設等への設置についても町へ意見している旨の説明を行いました。一方で、「撤去時期が早いのではないか」との疑問も寄せられ、議員からは、電気柵は通年設置できるものではなく、積雪前の撤去が必要であること、効果を保つにはこまめな草刈りなどの管理が必要で、設置・撤去ともに職員対応で相当の労力を要している旨の説明を行いました。「電気柵の説明や注意書きが不足しており、子どもが誤って触れるのが心配」との意見もあり、議員からは危険性を踏まえ、教育委員会を通じて学校へ周知する旨の説明を行いました。

草刈り等の環境整備については、「昨年実施したような草刈りは今年も行うのか」、「自宅周辺の草刈りをしたら熊の足跡があり不安になった」、「町が草刈りを行う場合、個人所有地の扱いはどうなっているのか」といった声がありました。議員からは、今年も実施する予定と聞いていること、個人の土地については勝手に対応できないため所有者へ連絡していること、また背の高い草が茂ると熊が潜んでいても分からず危険であることを説明し、草刈りを含む継続的な環境整備の必要性が共有されました。

出没・捕獲情報の周知に関しては、「熊出没時の放送で、少なくとも“どの地区か”が分かるようにしてほしい」、「出没情報が出てから放送する形で後手に感じる」、「捕獲数を月1回など定期的に知らせてほしい」といった意見がありました。議員

からは、情報提供の重要性を認めつつ、捕獲情報の発信については苦情対応等の事情もあることについて説明を行いました。今後は不安の軽減と運用上の課題の両面を踏まえた周知方法の工夫が求められることから、議会としても引き続き状況を注視してまいります。

ハンター体制については、「ハンターの専門員とはどういう立場か」、「規制強化で免許保有者が減っているのでは」、「銃猟に対応できる人が少ないと聞くが増やせないか」などの声がありました。議員からは、町職員として専門の職員がいること、銃・火薬の管理は遠隔地の事件でも影響を受け維持管理の手間が増えていること、町内ハンターは複数名いるもののライフル銃に対応できる者は限られ、所持には長年の経験が必要で直ちに増やすのは難しい旨の説明を行いました。

町の対応は早かったとの評価がある一方、ハンターの担い手を確保する重要性が改めて示されました。

熊対策と関連してゴミ出し対策の意見も複数あり、「千軒地区のような熊対策のゴミ箱・ゴミステーションを町内会と町で整備できないか」、「個人でゴミステーションを用意している現状を、長いスパンで改善すべき」、「生ごみをためておく和家人に入ってくる危険があるので、注意喚起を続けてほしい」といった声がありました。議員からは、ゴミ出しルールを徹底すること、頑丈なゴミステーションはあるが高額であること、設置の在り方は委員会等でも議論しているものの、町設置の結論には至っていない旨の説明を行いました。

捕獲個体の処理・利活用（食肉加工等）に関する質問もあり、議員からは、町は食肉加工等よりも捕獲・駆除を優先していると聞いている旨が述べられました。冬季の出没に対する不安の声もあり、引き続き注意喚起と対策の継続が必要であることから、状況を注視してまいります。

教育 3会場（8件）

教育に関する意見は、主にスクールバス運行と、高校の生徒確保・寮運営、学校PRに関する内容でした。

スクールバス運行については、冬季における除雪作業との兼ね合いから「バスが会館前に停車している時間帯と除雪車の作業時間が重なり、会館周辺の除雪が進まず危険・不便が生じた」、「雪が多い日は出発時刻を柔軟に調整できないか」といった具体的な要望がありました。送迎対象については、「中学生のみが対象だが、中学校へ向かう途中に小学校があるので、小学生も同乗できれば保護者負担の軽減にもなり、バスの有効活用になるのではないか」との提案がありました。議員からは、

運行開始当時と比べ子どもの人数が減るなど状況が変化している点を踏まえつつ、運行上の安全確保と学校や保護者等関係者との協議も必要である旨の説明があり、意見内容を教育委員会へ伝達し、運行担当へ調整検討を依頼する対応策が示されました。

高校に関しては、「今年の応募状況はどうか」、「寮の定員・入寮人数はどうなっているか」、「地元の生徒が少なく寂しい」といった声がありました。議員からは、応募状況として15人の応募があり、そのうち地元は1名と聞いていること、寮の上限が15人であることが説明されました。地元生徒の確保が難しい現状を踏まえつつ、「友好市町との交流先からの入学に結びつけられないか」、「町外から来ている生徒が外部で学校PRをしているのか」といった提案・関心も示され、議員からは、現時点で友好市町からの入学例はないこと、高校生が東京や札幌等で学校PRに取り組んでいることなどが紹介されました。資格取得等の補助制度は魅力として活かし得るとの意見もあり、今後さらに高校の魅力発信と支援策の周知を徹底していく必要性が再確認されました。

産業観光 5会場（21件）

産業・観光に関する意見は、主に水産業を中心とした一次産業の現状・将来像と、観光資源・施設の整備に関する内容でした。

一次産業に関しては、「ウニの減少や海の環境変化への不安」、「孵化場はもう少し拡張できないのか」といった声があり、資源状況や生産基盤に対する関心が示されました。議員からは、具体の拡張可否は所管で確認が必要としつつ、町の水産振興に関わる重要課題であるため、現場の状況把握と支援の方向性を継続して検討していく必要がある旨の趣旨が説明されました。

観光・施設整備では、メモリアルパーク等を念頭に「せっかく景観の良い場所なので、整備・管理をきちんとして観光につなげるべき」、「草が伸びて眺望が悪くなっている」、「駐車場をもっと海側にできないか」といった意見がありました。現地の安全性や利便性に関して「斜路が陥没していて危険」、「今後の管理はどうなるのか」など、具体的な補修・改善要望も寄せられました。議員からは、施設の管理主体や現状の対応状況を確認の上で整理する必要があること、危険箇所については早期の対応が望ましいため、町へ確認・伝達する旨の応答がありました。

観光振興の視点としては、「今ある資源の磨き上げ」、「維持管理を含めた計画的な整備」が重要との指摘があり、議会としても、産業振興と観光振興を一体的に捉え、町の取り組み状況を把握した上で、必要な改善点を整理するよう求めてまいり

ます。

除排雪 6会場（14件）

除排雪に関する意見は、主に排雪の必要性と優先順位、地域間の対応差、初動・巡回の在り方、危険箇所への対応に集中しました。

排雪については、「排雪が必要」、「排雪が進まない」、「どの基準で排雪するのか分かりにくい」といった声があり、生活道路の確保に対する不安が示され、「排雪をしないと道路幅が狭くなり、すれ違いが危険」、「緊急車両が通れなくなるのではないか」といった安全面の指摘もありました。議員からは、議会として除雪費そのものの削減を求めているわけではなく、必要な対応は必要として予算議論の場でも取り上げている旨が説明され、排雪の要否や優先順位は町の運用基準・判断基準と合わせて町民に分かりやすく示すことが望まれるとの主旨が説明されました。

地域間の対応差については、「地区によって除雪の仕方が違うように感じる」、「同じ町内でも対応に差がある」といった意見があり、対応の均衡や説明の必要性が指摘されました。議員からは、作業体制や路線条件によって差が出やすい実情を踏まえつつ、町民が納得しやすい形での情報提供・改善が必要との主旨が示されました。

初動・巡回については、「降雪後の対応が遅い」、「除雪車が入るタイミングが読めず困る」といった声がありました。通学路や交差点の安全として「雪山で見通しが悪く危険」「歩行者が車道に出ざるを得ない」といった指摘があり、優先して安全確保を求める意見が出されました。

生活環境上の課題として空き家の落雪に関する意見があり、「落雪で通行が危ない」、「危険箇所の把握と対応が必要」との声がありました。議員からは、空き家対策として相談先や制度の整理が必要であり、状況によっては町が所有者へ指導・連絡するなどの対応が考えられる旨の説明を行いました。

除排雪は冬季の安全・生活維持に直結するため、議会としても、町の運用基準や優先順位、危険箇所への対応状況を把握した上で、町民の不安や不公平感の解消につながるよう、改善点を整理し町へ伝達・提案してまいります。

防災 9会場（31件）

防災に関する意見は、主に津波避難の現実性、避難所の生活環境、冬季の運用課題、訓練・情報共有のあり方に集中しました。

避難場所・避難行動については、「津波避難の際、避難場所が足りるのか」、「多くの人が一斉に動くと、狭い橋などで詰まり危険ではないか」、「避難場所が偏ってお

り、複数の避難先を確保すべき」といった声が複数出されました。実際の地形・道路条件を踏まえた指摘が多く、避難路上にある橋や狭路などの懸念要因が示されました。議員からは、避難計画の検討状況や課題認識について説明があり、必要に応じて町へ意見している旨の説明を行いました。

避難所の生活環境では、特にトイレに関する意見が多く、「避難所のトイレが冬季は凍結防止のため使えない」、「トイレが不安で避難しづらい」、「仮設トイレだけでは足りないのでは」といった切実な声がありました。避難生活を想定して「物資配布の方法が分かりにくい」、「飲料水などがどのように配られるのか示してほしい」といった意見もありました。議員からは、トイレカー等の整備方針や、冬季運用では凍結等の制約があること、備蓄や運用の課題を踏まえて検討が必要であることの説明を行いました。

冬季の防災については、「冬に津波が来た場合、移動が難しい」、「寒さの中での避難所運営が現実的か」といった不安が寄せられ、暖房・防寒・トイレなどを含めた冬季想定の実現性が指摘されました。

訓練・情報共有の面では、「防災に関する協議の結果や課題を町民ともっと共有してほしい」、「訓練で分かったことを具体的に示してほしい」といった意見があり、対策の進捗や検討状況を“見える化”することへの要望がありました。議員からは、委員会等での検討や町への提言状況について説明があり、今後も町と連携しながら改善を促していく旨の趣旨が示されました。

防災は、平時の備えと同時に、実際に避難が発生した際の“運用”が鍵となるため、議会としても、避難路の整備対策、避難所トイレ・物資配布の運用、冬季避難体制整備などについて、町の対応状況を把握しつつ、町民の不安軽減につながる具体策を整理し、要望してまいります。

環境・インフラ 4会場（15件）

環境・インフラに関する意見は、主にゴミ処理と、排水・溜桝等の維持管理に関する内容でした。

排水・溜桝等については、「山側から流れてくる水を受ける桝が砂利や枝で詰まり、放置すると国道へあふれる恐れがある」、「防壁から出る水が宅地を流れており、溜桝の詰まりで石垣が崩れないか心配なので清掃してほしい」といった、具体的な箇所を示した要望がありました。議員からは、現地状況を含め町に確認し、対応を要請するとの応答があり、早期の点検・清掃等の対応が求められます。

ゴミについては、「福島町はゴミが多いと聞くと、何が原因なのか」、「人口規模に

比して多いという意味か)、 「分別方法によってはゴミに含まれる油分が少なく、火力を上げる必要があると聞いた」 など、排出量が高水準である理由や処理上の課題に関心が集中しました。議員からは、排出量は“総量”よりも一人当たりで見ると多いという趣旨であること、また分別が不十分だと燃えないごみが増え、処理費がかかること、二次燃焼の仕組み等に触れつつ、分別の徹底が重要であるとの説明を行いました。

分別・リサイクルの取組として、「熊被害をきっかけにごみ出しルールの意識づけが進んだ」、「町内会でアルミ缶回収を継続しており、資源ごみ回収への協力を呼びかけている」といった声もあり、住民側の取組・意識向上の事例も共有されました。一方で、終活等に伴う粗大ごみの増加を踏まえ、「不用品の買取を活用し、粗大ごみとして出す前に確認できる仕組みも考えられる」といった提案もありました。

将来の処理体制については、渡島廃棄物連合議会での議論として「将来的に四町で新たな処理施設を建設した方がトータルコストが下がる可能性がある」との説明が紹介され、「大規模事業になるのでは」との懸念・関心が示されました。議員からは、現時点では具体化していないが、方向性次第では大きな事業となる可能性が示されました。

「北斗市は分別を徹底していると聞く。電動生ごみ処理機のPRや分別説明など、啓発は継続してほしい」との要望があり、議員からは担当課へ伝える旨の応答がありました。ごみ減量とインフラ維持管理は生活に直結するため、議会としても、町の取組状況を把握しつつ、住民への周知・啓発の継続と、具体的な改善の早期対応につながるよう要望していくとの説明を行いました。

町内会 5会場（9件）

町内会に関する意見は、主に役員のなり手不足と運営負担、加入率低下、町内会館等の施設整備に関する内容でした。

町内会運営の現状として「役員のなり手がいない」、「高齢化で担い手が減り、少数の人に負担が集中している」といった声がありました。特に、交通安全啓発などの活動について「街頭啓発は廃止してもよいのではないか」、「行事が多く負担が大きい」との意見が出され、活動内容の見直しや負担軽減を求める意見が多くありました。議員からは、担い手不足は町内会に限らず各分野で顕在化していること、地域活動を維持するためには実情に応じた工夫が必要であるとの説明を行いました。

加入状況については、「町内会を脱退する世帯が増えている」、「町内会としてまとまりにくくなっている」といった指摘があり、従来の運営形態では維持が難しく

なっている現状が共有されました。町内会活動の意義を踏まえつつも、住民の生活様式の変化を踏まえた運営の在り方を検討すべきとの主旨が示されました。

施設面では、「町内会館の厨房を直してほしい」といった具体的要望があり、議員からは、所管部署へ状況を確認し、必要に応じて町へ要望を伝えるとの回答を行いました。

町内会は地域防災・見守り等にも関わる基礎的な単位であることから、議会としても、担い手不足の実態と住民負担の状況を踏まえ、活動の重点化や運営の簡素化、施設整備要望への対応など、町内会活動の維持につながる方策について、町と連携しながら整理してまいります。

その他 4会場（4件）

人口減少・移住定住に関しては、「人口が減って若い人もいない。何か策はないか」、「移住者はいるようだが、定住しているのか」といった声があり、町の将来に対する不安と、具体策への期待が示されました。議員からは、解決が容易ではない課題であるが、最近は町外から高校生が入ってきている状況なども共有され、人口減少対策は引き続き重要なテーマであることが確認されました。

商品券事業については、「回数も多く金額も大きいですが、コロナ前からこうした事業はあったのか」といった質問がありました。議員からは、過去にもプレミアム商品券等の取組があったこと、国からの予算を活用して実施している側面があることなどについて説明を行いました。

第2青函トンネルに関して「現在の動きを教えてください」との意見があり、議員からは、国会議員や道議会議員、青森県今別町などの間で機運が高まっているが、北海道全体としての熱量は高いとは言い難い状況などの説明を行いました。

町の各種支援策に関連して、財政への懸念として「様々な支援事業を行っているが、町の財政は大丈夫なのか」との声がありました。議員からは、多くの支援事業は国の補助金等を活用して実施していること、町の一般会計から過大な支出をしているわけではないとの説明を行いました。制度の財源構造を含めた分かりやすい情報提供が必要と町へ提案してまいります。

4. 地区別懇談会の開催状況

全16地区の地区別参加者数は下記の通り。

なお、次ページ以降は各会場別の懇談会報告書を掲載しております。

開催日	対象地区	会場	参加者数	男性	女性
2/3 (月)	松浦、吉野	松浦・吉野町内会館	6	5	1
	吉田町、館古	役場 (機能回復室)	2	2	0
	豊浜、宮歌	宮歌・豊浜町内会館	6	6	0
2/4 (火)	吉岡1・2、吉岡3	吉岡総合センター	8	6	2
	白符	白符町内会館	2	2	0
	上町、本町、川原町	役場 (機能回復室)	3	3	0
2/5 (水)	日向1、日向2、日向3	日向町内会館	5	5	0
	館崎1、館崎2・3	館崎2・3町内会館	12	8	4
	月崎1	月崎1町内会館	8	5	3
2/6 (木)	月崎2	月崎2町内会館	7	3	4
	塩釜、浦和、岩部	塩釜町内会館	0	0	0
2/7 (金)	緑町、丸山団地	福祉センター	3	3	0
	新栄町	新栄町集会所	4	3	1
2/10 (月)	三岳1	三岳1町内会館	2	2	0
	三岳2	三岳2町内会館	3	2	1
	千軒	千軒活性化センター	5	3	2
計			76	58	18

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.3 (火) 18:00~19:10
 対象地区 松浦・吉野 (松浦・吉野町内会館)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長 (事務局:角谷)
 参加者数 6人 (男5人、女1人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○ (議会)	定数について、9名でも8名でもよいと思う。	減らしすぎると委員会の体制などを成り立たせるのが難しい。
1【議会】	○ (議会)	議員が考えて出した答えだろうから、これで様子を見てみたら良いのでは。	諮問委員からも妥当という答申を受けている。
1【議会】	○ (議会)	歳費について、議長と副議長の差が大きいようだが。	仕事量や責任の関係でこのようになっている。
1【議会】	○ (議会)	歳費について、基準をもって決めているのであればこれで良いのでは。	
1【議会】	○ (議会)	漁師も人手不足で大変な中、議会に出るとなると自分の暮らしや仕事を捨てることになりかねず、簡単には出られない。一人でも抜けてしまうと仕事全体への影響が大きく、家族の理解も必要となる。	その通りだと思う。 ただ、そういった人たちが議会に出て、町に対してものを言えるように工夫していかなければならない段階に来ている。
1【議会】	○ (議会)	自分で「私が立候補する」と言える人は中々いないと思うので、モニターなどで入ってきてもらって、その中で育てて立候補できるようにしていくやり方は良いのではないかと。	議会でも色々なやり方を考えて実施しているが、成果には結びついていない。
1【議会】	○ (議会)	町内会連合会などに行くと、元役場職員が多い。そういう人は立候補しないのか。	行政のことをわかっているのだから、町内会長などはやりやすいのかもしれない。ただ、議員になりたいという話は聞かない。
1【議会】	○ (議会)	定数が9人であれば、吉岡方面からは3名くらいはいてほしいが、立候補するようないない。	現在吉岡方面在住の議員は2名。地域の後押しがあれば立候補する人もいるかもしれないので、声かけなどよろしくお願ひしたい。
1【議会】	○ (議会)	こうしてなり手がいない以上、80歳になってもやってもらえないのでは。	引退したくても後継者がおらず、ここまで来てしまった。高齢議員が多いと若手が立候補しづらいという声もあり、難しい状況。
1【議会】	○ (議会)	報酬が入るのであれば、家族も反対しないのではないかと。	発言権が強くなるなど、金銭面以外の様々な事情で難しい場合もあると思う。
2【熊関係】	☆ (説明済)	今後の熊対策はどうしていくのか。松浦でも姿を見ることは稀だが、鳴き声を聞くことはあり、近くにいます。	電気柵が有効だったため、今後も実施していく予定と聞いている。 昨年の全国的な熊被害によりクマ対策について国からの補助金なども強化されている。危険を感じるところなどがあれば要望したほうが良い。
3【教育】	● (町行政)	スクールバスと除雪の調整について、中学生のスクールバスが7時15分に会館前に到着し、7時45分に出発する。 夏場は問題ないが、冬は除雪のブルが来る時間とぶつかり、バスが停まっているため会館前～会館裏の除雪ができずブルが帰ってしまったことがある。 7時45分に松浦を出発するという点を変える必要はないが、雪が多い時は7時30分など除雪と時間がぶつからないよう柔軟に調整することはできないか。	議会からも教育委員会に対して伝える。 →2/4 教育委員会へ伝達。教育委員会からスクールバス運行担当へ時間調整するよう連絡するとの回答。
3【教育】	● (町行政)	スクールバスの送迎対象について、バスの送迎対象は中学生のみで、吉岡小学校に通う子供たちは親が車で送迎している。吉岡小学校は中学校までの途中にあるため、小学生も一緒に乗せていっていただいても良いのではないかと。お金をかけてバスを走らせているのなら有効に活用すべき。 吉岡中学校と福島中学校が合併する際に吉岡方面の子供たちの通学手段として運行が始まった経緯は認識しているが、当時と比べ子供の数も減るなど状況が変化している。	考える余地はあると思う。 運行開始当時は現在よりも子供たちの人数も多かったなど事情があったと思うが、当時とは状況が変化しているのは間違いない。帰りは授業時間などが異なるので難しいと思うが、朝の迎えだけでもできないか、議会から教育委員会へ話をします。 →2/4 教育委員会へ伝達。学校や保護者等も関係するため即答はできないが、ご意見としてお預かりするとの回答。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
6【防災】	☆（説明済）	<p>昨年春頃に津波避難場所について、町と協議した際に示された一時避難場所付近に夏頃に熊が出没した。</p> <p>避難場所が限られることは理解しているので、変更する必要はないが、熊を想定した安全対策をお願いしたい。</p>	<p>議会からも町に対して安全対策について万全を期すように伝える。</p>

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.3 (火) 18:06 ~ 19:25
 対象地区 吉田町、館古(役場)
 参加議員 平沼議員、木村議員、溝部議長(事務局:熊谷)
 参加者数 2人(男2人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○(議会)	中継をよく見てるんだが映像が途切れるので、他町のようにYouTubeにしたらいいのではないかな。	アクセス数の関係で不具合が出る可能性もあり。後日編集したものがHPに上がっている。
1【議会】	☆(説明済)	ハラスメント防止の関係で、意見のとりまとめにいたらず引き続き議論することになりましたとある。自分はハラスメントについてはそれほど重視しなくてもよいように思うが、世間的な流れで話さざるを得ない状況かと思うが。	女性議員のなり手対策、倫理条例の規定を今作っているが、その中にハラスメント情報を加えておく程度にしようということ検討中と説明。女性議員が来やすい環境を考えていきたいということです。いらぬという意見も実際にある。女性議員のなり手確保等を考えて項目に入っている。
1【議会】	☆(説明済)	ハラスメント自体は大した気にしない。世間がハラスメントにうるさい、話さざるを得ないということなんでしょうけど。	ハラスメントがあったから作るということではなくて、器として条例を作っておこうということ。条項を追加すること。
1【議会】	☆(説明済)	定数について、減らすのであれば議会の中である程度一緒にしなくてはならないところも出てくるだろうし、そうすることで負担が出たり、うまく回らないところもあるだろう。運営する方に見れば、減らすことで負担が増すので、人数を増やせとは言わないが、ただ減らせばいいというものではないと思う。	
1【議会】	☆(説明済)	定数に関しては福島町の人口割合でみると、他の市町村も調べたが特別多いというわけでもないで、10人でも良いと思う。町民の中には議員は何もやっていない、何も変わってないのだから1人でも2人でも減らした方がよいというような意見もある。町の予算を減らすためにと考えているのかもしれないが、10人から1人減らすということであれば、議員の仕事がやりづらくなる部分はあるので、それを承知の上で、町民の納得と、自分たちの仕事効率も考慮したうえで決めたのであればよいのではないかな。	確かにそういった意見を言われることもある。定数についても調べると様々あり、人口割合で何人が正解ということもない。議会も議会がこういうことをしているんだと発信していく必要があるとは思っている。
1【議会】	☆(説明済)	今回のような場は設けられているが、議員は何もしていない、何も変わらないという人に限ってこういう場には出てこない。意見があるのならこういう場に出てきて言えばよいのと思う。言っても変わらないという気持ちがあるのかもしれないが、言わないと変わらない。	議員もなにも言われぬから問題ないと思っているわけではないが、まだ理解してもらっていないと感じる。
1【議会】	☆(説明済)	定数を減らす方向だというのが、今の現状維持でもいいと思うが、とりあえず1名減でやってみて、それで駄目だったら増やす戻すということもできるじゃないですか。すぐ戻すのは難しいかもしれないが、1回やってみては。	今の議員は経験が長い人が多いので進めやすいが、新しい議員たちで構成されるときに、どうなるんだろうという感じはする。
1【議会】	○(議会)	昆布漁師は一年中何かしらやっている。ピークは夏かもしれないが、それ以外でも動いている。	漁業関係者にも声掛けしている。養殖コンブやっていれなきゃという事を言われるが、繁忙期の時期は議会活動を休んでもいいような方向も考えていかなきゃない。大変な仕事だと思うが、町の基幹産業でもあるのでその業界から議員に出てほしいと思っている。
1【議会】	○(議会)	漁師は忙しい。	基幹産業の水産から議員が出てほしい。漁業青年部じゃなくても、代替わりした父親、後継者がいる父親が出て来るのがいいのかなと思うがなかなかない。
1【議会】	○(議会)	議員モニター導入というのはどういうことなのか。	議員になってもらえるような人に、議員とはどういうことをするのか少しずつ話して立候補してもらいたいということ。ほかの議会では議会を見て感想などを書いてもらい、議会運営の改善につなげているという制度があり、そこから立候補した方がいるため、福島でも導入した。
1【議会】	○(議会)	議会運営について感じるこつというの、予算を見たり、表に出ない部分の仕事を理解しないで議員に立候補した人が当選してしまうと、活発な議論ができないという懸念もある。	なる前から知識があるに越したことはないが、なってからでも知識をつけることはできる。知識がないということも逆に町民目線で物事を見て話ができるという点で良いことだと思う。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○（議会）	議会の中継は結構見ている人がいるのか。	HPの閲覧数は分かるが、中継を見ている人だけをカウントはしていない。
1【議会】	○（議会）	YouTubeなどを使えばリアルタイムで見ている人の数など見れるので良いのでは。	
1【議会】	○（議会）	自分はHPで興味のあるものだけは見ているが、中継や過去の映像を見られることをよく知らないのではないか。もっと見てもらえるようにアピールしては。	議会の魅力を発信する必要もある。
1【議会】	○（議会）	些細なものでも何らかのきっかけは必要。	見て面白いと思えるようなものも必要かもしれない。
2【熊関係】	☆（説明済）	千軒地区でクマ対策としてゴミ箱作った。収集車が来るまで待っているのに、町内会と町とで出し合いして設置したらいいと思う。	高齢になってきてその場所まで持っていくのもまた大変という話もある。
2【熊関係】	☆（説明済）	事故あったからなおさら気をつけなくてはならないという意識付けができています。	
4【産業観光】	☆（説明済）	第1次産業で瀬棚でも知内でも生簀で海上養殖やっているが、福島町ではそういう話なかったのか。知内もよそのメーカーが来てやっているみたいですよ。	ないことはなかったんだろうが、アワビ陸上養殖などやっている。浦和などで少しやっていたと思うが。
4【産業観光】	☆（説明済）	漁師のためにやっているはずなんだが、漁師自身が陸の上で作った魚なんてという価値観が主流だったみたいで、ヒラメなどもやっていたと思うが。	継続していない。農業でも漁業でも、いろいろ取組んできたが、当事者の諦めが早いという傾向があった。
4【産業観光】	☆（説明済）	三岳の奥にサケマス孵化場があるが、あれは使っているのか。サケの放流はやめているはずだが。	職員は一人張り付いていたように思うが。
4【産業観光】	☆（説明済）	福島の残念なところは例えば知内のニラは、ニラといえば知内という風になるが、福島のコンブは全国的に認知がない。ウニのおりだとかで吉岡産とついているものが、高級料理店に行った人のYouTubeなどで見かけることがあるが、町の人は全然知らなくて自分達のブランド意識がない。	
5【除排雪】	☆（説明済）	岡本病院前の歩道と車道の雪山で視界も悪く、歩道も歩けない状態で子供達には危ないので、事故起こる前に何かしたほうがいい。予算の関係もあるかもしれないがもう少し頻繁に排雪お願いできないか。	町道、道道、国道とぶつかる所は責任分野でなかなか大変みたいだが、その場所は昨日排雪入っていた。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	ゴミの出し方などは熊の被害があったこともあり、意識づけが出来ている部分もある。	ゴミ出しルール徹底のお願いをしてから、かなり守られているようだ。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	ゴミが多いというのは、量が多いという話か？	総量を一人当たりで割ると多いという話。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	福島町のゴミが多いというのは、昔からずっと多いということか？	最初から記録しているわけではないが、ここ数年はずっとトップ。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	人口が少ないから負担が多いのか？人口が少ない割にゴミが多いということか？	
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	ゴミの総量が多いと燃えない原因になるとかそういうことか？	分別がきちんととれないと燃えないゴミになってしまい、処理料がかかる。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	人口が少ない順に排出量多いのでは？	分別・リサイクルを徹底してもらおうと呼び掛けている。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	ゴミに油分が少なくてわざわざ油を入れて火力を上げなくてはならないという状況を聞いたことがあるが。	それは二次燃焼の関係だと思う。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	町内会でアルミ缶に関しては何年も続けていて、去年は6,000円代だった。プラスチックや段ボールは低価格だが、金属に関しては高めなので、なるべく協力してもらおうように呼び掛けている	
9【その他】	☆（説明済）	商品券について回数も多く、金額も多い。コロナ前からこういうのはあったか？	プレミアム商品券などはあった。1人10万円というのもあった。町独自にというか、国から予算が来たものを使っている部分も大きい。福島は国から予算が来る前に財調を切り崩したりしていち早く支給するようにして喜んで喜ばれている面もある。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.3(火) 18:00~18:52
 対象地区 宮歌、豊浜(宮歌・豊浜町内会館)
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、杉村議員(事務局:鍋谷)
 参加者数 6人(男6人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆(説明済)	定数の考え方については、人口も減っていることから10人に拘ることはないと思う。それに議員になる人がいないのではないかな。	担い手になってもらえるよう声はかけているが、なかなか良い返事をもらえていない。
1【議会】	○(議会)	議員に色々話を聞いてもらえるので、懇談会の取り組みは良いと思う。	
2【熊関係】	☆(説明済)	熊・鹿の処理を千軒の処理施設で処分していると聞かすが、肉を利用することは考えてないのか。ほかの町ではそういう所もあると聞いている。 福島のハンターが良い部位を取って食べているという話も聞いているが本当なのか。	町では1頭でも多く駆除することを目指しており、食肉加工などは考えていないようだ。ハンターが肉を取っているというようなことは、昔はあったかもしれないが今はないのではないかな。
4【産業観光】	☆(説明済)	海の中はイワシがすごいことになっている。死んだイワシをウニが食べているので、ウニの味が悪くならないか心配。 去年は養殖コンブ、ウニが良かった。マグロやイカ等も来てるのに獲れないのは何とかならないのかと思う。	国の漁獲枠の制限があるので難しい。なんとか増えれば良いのだが。
5【除排雪】	☆(説明済)	先日、宮歌で人が埋まっていたと聞いた。空き家などの落雪も危険だが、そういった場合は町に言えば良いのか?	空き家の落雪は町に相談して。屋根の雪下ろし等については町の補助事業もあるので利用することも検討してみてもどうか。
7【環境・インフラ】	●(町行政)	豊浜と宮歌の境にある山から流れてくる水を受ける桧が砂利や木の枝等で詰まっているため、放置しておくとう国道に水が溢れることを危惧している。そうなるからでは大変なので何とかできないか?	町に確認して対応してもらいます。
7【環境・インフラ】	●(町行政)	氏子沢の原子さん宅裏にある防壁から出てくる水が自分の家の土地を流れている。溜枘もあるが詰まったりして石垣が崩れてこないか心配なので一度掃除してほしい。	町に確認して対応してもらいます。
9【その他】	☆(説明済)	人口が減っている。増えることもなく若い人もいない。何か策はないものか。 移住者などはいないのか?	難しい問題だが、最近は町外から高校生が入ってきている。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.4 (水) 18:00~19:17
 対象地区 吉岡1・2、吉岡3 (吉岡総合センター)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長 (事務局:角谷)
 参加者数 8人 (男6人、女2人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○(議会)	定数について、9人で議会としての活動に支障がないのであればよいが、人数が減ったとしても議員の仕事が減るわけではない。むしろ増えているのではないかと思う。世の中では議員は減らすべきだという声があるが、実際に活動している議員がどう考えているのかが重要ではないか。	常任委員会の在り方などを見直す必要があるという議論をしている。現在も定数10名に対して9名の議員で活動しているので、活動自体は可能。
1【議会】	○(議会)	町民の意見を聞いてくれるのはありがたいが、議員の方から自分たちがしっかりと活動をしていくためには10人が必要だというのであれば、そのように訴えるという考え方も必要ではないかと思う。	
1【議会】	○(議会)	現在も常任委員会が2つあるものの、委員外議員という形でお互いの委員会に参加するという仕組みをとっているので、委員会を一つにして活動していくのは問題ないのではないか。	最近委員外議員としての出席が多くなってきており、おっしゃるように委員会を一つにして活動していくことは問題ないと思う。ただ、その分以前と比べると出席回数が増え、負担が増えているのは間違いない。
1【議会】	○(議会)	福島は通年議会なので、いつでも議会を招集できるため、議員は大変だと思う。	大変なのは事実だが、先日の給付金などを年内に対応できるなど町民にとってのメリットがある。
1【議会】	○(議会)	議員の仕事というのは、一般の町民からすると見えているようで見えていないところがあるので、単に人数を増やす減らすというよりも、仕事の中身や負担について十分な説明をしてほしい。	
1【議会】	○(議会)	町外から一本釣りするというのはどうなのか?よその町の人でも勉強してもらい、議員のなり手を育てるとするのも良いのでは。	そういう考え方もあると思う。他の町でもそういう事例は聞いたことがある。
1【議会】	○(議会)	本来は地元をよく知っている人が、産業団体から出てくれるのが一番良い。	年齢、職種などがばらついた形で議会が構成されるのが理想ではあるが、現状はそうっていない。
1【議会】	○(議会)	国などに期待するのではなく、自分たちでなり手を育てていくように考えなくてはいけない。労力をかけても1人立候補すれば御の字だと思うが、たとえ立候補に繋がらなくても育てていく過程で町や議会についての理解が深まると思う。	それは大事な考え方だと思う。
1【議会】	○(議会)	誰が町の議員で、誰が議長なのかわからない。誰がやっても同じだろう、関心がない。そういう人もいる。	
1【議会】	○(議会)	モニターとして議員の仕事を見てももらうことも大事だが、あまりに忙しいので及び腰になってしまう懸念もあるのではないかとはいえ、議員の仕事について知ってもらうようにすることは大事だと思う。	
1【議会】	○(議会)	ハラスメントについて入れていくとあるが、何か問題が起きたのか?	そういうことではない。今後の環境整備の一環として入れるということ。
1【議会】	○(議会)	人数が少ないから委員会を一つにする、という単純な話ではなく、そもそもどうして2つに分かれているのか?というところから考える必要があると思う。	当議会では常任委員会の活動を重視しているので、今後も役割を果たせるように考えていく必要がある。
1【議会】	○(議会)	昔は20数人の議員がいて、3つ4つと委員会があったと聞かすが、今は半分以下担っているので大変だと思う。	以前は自分の所属していない委員会のことはよく知らないということがあったが、一つにすることで全議員で議論していけるので良いのではないかと思う。
2【熊関係】	☆(説明済)	熊を捕獲した際の報償費は今いくらか?	4万円ほどだったと思う。
2【熊関係】	☆(説明済)	熊の捕獲数などを月1回など定期的に知らせてもらえると、安心に繋がると思う。1頭取ること毎回知らせる必要はないが、定期的な情報提供がほしい。	情報提供は大切だと思う。しかし、捕獲した情報などを流すと保護団体などによる苦情で対応が大変という側面もある。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
2【熊関係】	☆（説明済）	熊が出没した際の放送について、どこの地区で出没しているのかわかるような内容にしてほしい。詳細な位置までは必要ないが、せめて地区は知らせてほしい。頻繁に出没していた頃、最初は地区を知らせていたが、後から地区を言わなくなり、どこで出たのかわからず不安だった。	情報の知らせ方を工夫することは必要だと思う。
2【熊関係】	☆（説明済）	吉岡地区で熊を捕獲したという話はあまり聞かない。見かけたという話は聞かぬが。	見かけたとしても通報をしていない人もいるのではないかと思う。見かけたという話は聞いている。
2【熊関係】	☆（説明済）	ハンターの専門員というのはどういう立場なのか？	町の職員として専門の人が1名いる。
2【熊関係】	☆（説明済）	ハンターに関する規制が厳しくなったこともあり、昔に比べると免許を持っている人が少なくなったように思う。	銃や火薬を使った犯罪が起きると、事件現場が東京や九州などの遠隔地であっても、銃や火薬の提出や確認を求められるなど、維持管理の面で手間が増えていると思う。
5【除排雪】	☆（説明済）	除排雪について、ごみ収集で回っていると普段は通れる道も通れなくなっている場合がある他、車が壊れてしまう場合もある。実際に壊れてしまった際に役場へ相談したが、「気を付けてください」といわれるだけで補償などはない。除雪の基準を緩めるなど、より柔軟な対応をしてほしい。基準未達としても、踏み固められた上に積もるのを繰り返していると、非常に走りづらい道になってしまう。	議会として除雪費を減らせという話はしておらず、除雪費の追加補正についても止めることはしていない。
5【除排雪】	●（町行政）	以前と比べ、除雪に関する反応が鈍い。建設課が巡回しているのを見かけるが、役場の車が走れるなら問題ないと判断されているのであれば困る。荷物を積んだ軽トラなどでは走れないことも多々ある。	2月会議で除雪費の補正予算が上程されると思うので、その際に意見として伝える。
5【除排雪】	●（町行政）	排雪してほしいと言ったが、予算がないと言われた。福島側は排雪をやっているのに、吉岡側はできないというのはおかしいと思う。	2月会議で除雪費の補正予算が上程されると思うので、その際に意見として伝える。
5【除排雪】	●（町行政）	聞いた話だが、道道の除雪については温泉のあたりにカメラが設置されており、それを札幌の方で確認して判断しているらしく、町もそれに合わせて動いているらしい。	2月会議で除雪費の補正予算が上程されると思うので、その際に意見として伝える。
5【除排雪】	●（町行政）	カメラの測定値と実測値がずれているという話も聞く。	2月会議で除雪費の補正予算が上程されると思うので、その際に意見として伝える。
6【防災】	☆（説明済）	昨年の地震による津波警報ではメモリアルパークに避難する人が多かったが、メモリアルパーク自体がそれほど広くないこともあり、すぐに一杯になってしまう。鉄道の管理棟などは現在使われていないはずなので、そういった場所を町で借り上げて避難時に使えるようにできないか。	そういった場所は町ですでに借りている。ただ、冬季の除雪が十分にできていないなどの問題があるため、先日の委員会でも避難計画について議論した際に町へ意見を伝えている。
6【防災】	☆（説明済）	街灯が十分になく、冬は5時を過ぎると真っ暗になってしまう場所もある。災害は昼夜を問わずに発生するので、街灯を増やすなど夜間の避難を想定した対策をしてほしい。	そのとおりだと思う。委員会でも同じ話題は出ており、トイレなどの関係も含めて避難先の整備や対応について検討するよう町へ意見を伝えている。
6【防災】	☆（説明済）	昨年の地震による津波で避難した際はメモリアルパークへ避難したが、ここは一杯なので学校へ移ってくれと指示されたという人もいる。	温泉も避難所として開放したという話も聞いている。
6【防災】	☆（説明済）	地震、津波などの避難はまず高いところへ逃げる短期的な避難と、被災したあと学校や体育館に集まって避難生活をする長期的な避難がある。一番最初の避難先となる短期避難先をしっかりと整備してほしい。メモリアルパークについても、昔は建物も少なく開けていたが、今はそうではない。	冬場の除雪などについて考慮していく必要がある。
6【防災】	☆（説明済）	支所も学校もそうだが、夏場に避難した場合、熱中症になってしまう。そういった面の整備も必要だと思う。	議会としても町に対して意見している。
6【防災】	☆（説明済）	メモリアルパークに車で避難したが、前後の車に挟まれて身動きが取れなくなってしまった。道路幅がそれほど広くなく、道路の真ん中に停める人や大型車両などが来ると思うように避難できない。	一方通行にするなど工夫が必要だと思う。以前は徒歩での避難が原則とされていたが、今は高齢化が進んでいるので車を使わざるを得ない。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
6【防災】	☆（説明済）	学校に避難したが、階段で上の階に上るにも足腰が弱くて上ることが難しかった。	福島の小中学校でも避難した町民から同じ話を聞いている。車椅子利用者の避難なども含めて考えていかなくてはならない。
6【防災】		避難をする際に美山の人たちにも呼び掛けたが、避難しなかった。住んでいる場所によっては避難先が自分の家よりも海拔が低い場合などもあり、戸惑うのかもしれない。	

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.4 (水) 18:03 ~ 19:02
 対象地区 白符 (白符町内会館)
 参加議員 平沼議員、木村議員、溝部議長 (事務局: 熊谷)
 参加者数 2人 (男2人、女0人)
 [対応凡例: ○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	10人が9人になってどうなるのかわからないから何も言えない。 どういふ役割で仕事しているのかわからない。	委員会構成について説明。
1【議会】	○ (議会)	以前議員だったが、復帰しろと言われてももう難しい。	新しいなり手を探しているが、なかなか良い返事はもらえない。
1【議会】	☆ (説明済)	定数について、人口が減ったから減らすという話ではなく、どういふ形にして議会というものを構成して行ったらよいか、議会ではどういふ考え方をしているのか?	行政から出された案件を協議するにも議員の人数はある程度必要だと考えている。町内会長か、町内会を代表する方々になっていただくという方向性になるのではないかと思う。なり手もない、人数もない中では大胆な考え方も必要では。
1【議会】	☆ (説明済)	単刀直入に言うと、もしも自分が議員をやっていたとすれば8代にもなって議員をやっているのか?という話になる。次の選挙になると、ほとんどそういう人たちは立候補できないのではないのか?という形になっていくと思う。それをどういふ風な形で大熊町などみたいなまちづくりをするのか?という議論を議員の人たちがしていかななくてはならない。若い人たちが話をできる、集まれる議会というものを作れるのか、作ろうとするのかということが必要。日曜、土曜とか、若い人たちも出られるような議会を作るとかなんとかしないとダメ。人数だけで決められるという風になってしまう。若い人たちが引っ張って行ってやるのであればよいと思う。	おっしゃることはわかる。対策をとっていく必要があると思う。
1【議会】	☆ (説明済)	どうしても仕事を持っている人が議会の中にいるというのは大変。仕事しながらでも議員がやれる、そういう議会を作ってくれば良い。いろんな人のいろんな考えで議論をしていくにあたって、ある一人の人がすべて仕切るのはではなく、何人も交代しながらでもその町を作っていくという風な人たちらを作り上げる、育てればよいと思う。若い人方を引っ張っていくような議会環境を作らないと思う。	今働いている人たち、たとえば漁業者の状況を見ていると、議員はやっていられない。 例えば繁忙期は休んでも良いという形をとれないかということも話をしているが、それはまだ議会の中で決まってははいない。あくまで一つの意見としては話題になっている。 経営者側であれば多少時間の融通は効かないが、雇われている側ではそういうわけにもいかない。
1【議会】	○ (議会)	組合は土日休みなど働き方も少し変わってきている。そうなってくれば、議員に出られるような人もいるかもしれない。	まったく興味がないということでもないとは聞く。出られるような仕組みづくりは必要だと思う。定数は次期改選期までにはつきりさせたい。来年の今頃、町民懇談会で報告する形になる。
2【熊関係】	☆ (説明済)	白符で起きた事故の熊が分かってよかった。	
2【熊関係】	☆ (説明済)	最近熊の出没はないが、津波避難場所上辺りに鹿が食べられた跡などがあり、熊に食べられたのではないかと、近くに熊がいるのではないかと不安と近所の人方から声が上がっている。	シカの数もかなり増えていると新聞報道されていた。
2【熊関係】	☆ (説明済)	シカは繁殖力がすごいので、食肉にもしたらいい。美味しいと聞いた。	ジビエについて木古内町・知内町を例に説明。
6【防災】	☆ (説明済)	津波対策の避難路計画が、道から派遣されて来た人と業者の人達との考え方が最初にやった話と違う。 最初はどこに逃げたらいいかという話だったのが、川を境に吉岡・福島へと避難するよう言われた。過去の奥尻や秋田沖の津波を経験している人も多い。自分達の持論や昨年のカムチャッカ半島の地震による津波といったものを念頭に避難の話をやっているように思う。自分達としてはすぐその神社や、この辺りでも海拔6mくらいのところに逃げればいいのかと思う。車があって移動できる人の考え方だ。	今やっている計画は日本海溝・千島海溝の地震を中心にやっていることについて説明。 避難先の選定については議会からも委員会で町に対して意見をしている。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
6【防災】	☆（説明済）	町の方で委託している業者の人がそういうことを言っている。最初の頃の話と今言っていることが全然違う。そういう話を議会は全然知らないのではないか。それでは議会として問題があるのではないか。	議会に正式に発表されていない。
6【防災】	☆（説明済）	神社の除雪は時々しているが常に登れるような除雪の状態ではない。神社の階段を登れる年寄りはいない。また、避難した先での水、トイレ、暖房、そういったものを町の方で提案できるようなものをお願いしますということを考えて言っているとおりでしよう。	先日、津波避難に関する委員会があり、計画を策定して来年以降に順次整備していきますという話だった。（委員会で説明のあった内容を簡単に説明）
6【防災】	☆（説明済）	地域の中でも神社の階段を上るのが大変、神社方面まで行くルートはどうするかということと話合っており、中には神社の左側の方に階段を使わずに上っていける空き地とそこへの道があり、その所有者は自分の土地だが避難する際などは好きに使ってくれて構わないと言ってくれている。道路というよりも、人が1人2人通れる程度の道であって、道路ではないが。	機会があれば一度見に行ってみようかと思う。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.4 (水) 18:00~18:45
 対象地区 上町、本町、川原町 (役場:機能回復室)
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、杉村議員 (事務局:鍋谷)
 参加者数 3人 (男3人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	議会改革の特別委員会はいつから何回やったのか?	令和6年度に設置し、これまで5回開催しています。
1【議会】	☆ (説明済)	議論の結果は出たのか。議会だよりにはこの懇談会で意見を伺うとあるが、他の会場から意見は出たのか?	他の会場からは、良いんじゃないかといった意見は出ている。
1【議会】	☆ (説明済)	特別委員会で出た方向性に諮問会議からの答申も出ている。それに尽きると思う。ここで、町民から意見が出たとして、内容を見直したら、また諮問会議にかけるとか?	特別委員会の方向性は確定したものではない。この懇談会でこれとは違った意見等があれば見直すこともある。その際は改めて諮問会議に諮問することになると思います。
1【議会】	☆ (説明済)	福島の人口の半分が女性なのに、女性議員がない、これで良いのかと思う。女性議員がいるのが望ましいと思うが議員の考えはどうか?	議会としても、そのとおりだと考えている。個人的に声を掛けてはいるが、家族の理解が得られないようで、良い返事はもらえない。
1【議会】	○ (議会)	女性が議員になることで家庭をどれだけ犠牲にすることになるのか、それをバックアップできるのか考えるべきではないか。	意見として伺っておきます。
1【議会】	☆ (説明済)	難しいと思うがクオーター制を導入した方が良いのでは。福島町議会は先進的と言われるし、少し乱暴に進めても良いのでは?	議論の中ではその話も出ているが、制度導入のためには国の制度から変えて行く必要があり難しい。
1【議会】	○ (議会)	個人的に心配するのは、議員の年齢構成が高いこと。昔は70歳を過ぎると後進に道を譲っていたと思う。自分もそうだが75歳を超えると時代に付いていけない。自ら先頭を切っても良いのではないか?	意見として伺っておきます。
1【議会】	○ (議会)	個人的には、議員数は減らすべきではないと思っている。報酬は議員として専従で生活できるだけの金額に上げて良いのでは、その代わりそれに見合うだけの働きを見せて行く必要がある。委員会を一つに纏めるのは良いと思う。運用で色々考えているようだが、報酬を上げて委員長がきちんと仕切れば良い。いずれにしても、諮問会議の答申のとおり進めて下さい。	意見として伺っておきます。
1【議会】	☆ (説明済)	議会の傍聴したい時は事務局に言えばよいのか?	手続きはありません。見たい時に議場にきてもらえば傍聴できます。
1【議会】	☆ (説明済)	議会中継を見ている人は結構いる。画質が低いと感じているが、カメラ等を変える予定はありますか?	具体の計画はないが、今の機器は整備してから8年以上経過しているため更新の必要は認識しています。
5【除排雪】	☆ (説明済)	除雪の関係、国道との接続部分の見通しが悪い。削ってもらわないと大変。	それは感じている。議会からも伝えていきたい。
5【除排雪】	● (町行政)	国道の排雪はいつ入るのか?	今のところ情報はない。担当に伝えます。
5【除排雪】	● (町行政)	空き家も多く、屋根の雪で危険なところもある。役場で回ってチェックしてほしい。	会長が確認して役場に連絡する町内会もあるようです。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.5 (木) 18:00~19:21
 対象地区 日向1、日向2、日向3 (日向町内会館)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長 (事務局:角谷)
 参加者数 5人 (男5人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○ (議会)	前回は選挙が行われ、10人体制でスタートしたが、後半には1名が勇退し9人体制となった。今回の選挙では定数割れとなり9名でのスタートをしている。こういった経過を踏まえて定数の議論をするのであれば、1歩踏み込んで9名を基準として1名減じて8名とするという話になるのではないかと印象を持っていた。	定数を8名にしてはどうか、という意見は特別委員会でも出されている。
1【議会】	○ (議会)	歳費について、各町の議会改革の状況を見ると、もっと上げて良いのではないかと。若い人が仕事をしながら議員活動をする場合、少なからず仕事を減らす必要が出てくる可能性があり、そのことにより収入が減った場合、議員報酬でカバーできれば多少は安心して両立できるのではないかと。	そういった考え方もあると思う。実際に近隣町でも報酬を増額するという動きがあるほか、議会改革の先進自治体である栗山町でもなり手確保のために大幅な増額を行ったという話も聞いている。ただし、当町の場合は福島町方式という形で町長の給料を基準とし、議員の活動日数に基づいて算出しているため単純に増額するという形をとるのは難しい。
1【議会】	○ (議会)	議員のなり手について、諮問会議からの答申に「初めから議員のなり手を期待されてしまうことで応募に躊躇している人が多いのではないかと」とある。国会議員は自分の考え方や地盤を後継者に引き継ぐ、ということが普通にあるが、町村議員はそういったことがあまりないように見える。一人ひとりの議員がそれぞれの分野の中で自分の後継者となりうる人を育てながら活動する方法と、それとは別で視野を広く持ち、町内全体に対しても呼びかけをしていく、という2つの対策を車の両輪のように進めていく方法は考えられないか。国会議員の2世議員などは幼いころから親が議員として活動する姿を見て育っているからこそ、スムーズに議員としての活動ができる。そういった視点を町村議員でも持っていかななくてはならないのではないかと。	後継者を探して育てるにしても、現在の歳費ではやってもらえるのだろうか、という話も議論の中では出ている。
1【議会】	○ (議会)	ハラスメント対策の関係は、新しい条例を作るにしろ、現在の条例に項目として追加するにしろ効果としては変わらないので問題ないと思う。	
1【議会】	○ (議会)	常任委員会を一つにするというのは、今でも委員外議員という仕組みをもっている。しかし、心配なのは今2つの委員会で分けている案件をそのまま1つの委員会ですべて対応する、という話ではなく、対応すべき案件をもっと絞って減らす必要があるのではないかと。会議の回数が多いことが負担に感じるとい話も聞く。例えば毎年定例的にやっているもので、資料の内容を確認するだけで終わるような決まりものは報告程度で済ませて、本当に議論が必要なものについて議論する、というように見直していく必要があるのではないかと。	2つの委員会を1つにするということは、かなり負担が大きくきつい状態が続くのではないかと感じている。昔は、常任委員会はそれぞれの分野の専門にならなくてはいけなかったと言われていた。その考えでいくとすべての専門にならなくてはならないということであり、相当な負担になると思う。常任委員会での調査事件や本会議での議決事件の基準などについても議会基本条例で定められているが、現在の状況を踏まえて見直すべき段階にきているのかもしれない。
1【議会】	○ (議会)	福島町議会は他の議会と比べても上位にあるといわれているが、人口が減り、職員が減り、議員も減っていく中で、今まで作り上げた体制、やり方を維持すべきなのか、規模に合わせてスリム化していくべきなのか、自分の中でも答えがでていないが、考えていくべきではないかと。	
1【議会】	○ (議会)	議員を1名減らすということは、その分だけ町民の声が議員に、町に届き難くなるという弊害がある。役場の職員数も随分と減り、外勤すら満足にできないという話も聞く。現場の声を集めることが昔のようにできないのではないかと。先ほど8名にしてはと言ったが、それは「突っ込んだ議論をしたのか?」という話であり、町民の声を町に届けるという議員の役割を考えると9名が妥当だと思う。	議員の活動日数は大体116日となっており、それが新たに立候補しようとする人にとっては高いハードルになっているのではないかと。思う。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○（議会）	年間の活動日数からすると、単純計算で3～4日に1回会議に出ることになる。雇用されて働いている人などはとてもじゃないが対応できない。会議の回数を減らしてでも、その分は町を歩いて町民の話を聞いて回るなど、目に見えない活動の日数が多くあるんだ、という考え方をしても良いのではないか。	
1【議会】	○（議会）	歳費の根拠としている福島方式で使っている議員の活動日数の捉え方について、もっと柔軟に考えてみても良いのではないか。	
1【議会】	○（議会）	行事の出席なども分相制にしてみてもよいのではないか。行事に出るばかりが議員の仕事でもないだろう。	町内でのイベント出欠状況について議員間でも揶揄されたり、町民からも議員は行事に顔を出さないとと言われることがある。
1【議会】	○（議会）	去年の懇談会でも述べたが、議員の世襲、後継者育成について考えるべきだと思う。また、産業系、例えば養殖コンブ部会から議員をだしてもらおうなど、そういったことを考えてもらう必要がある。	
1【議会】	○（議会）	若い人達が仕事をしながら議員活動をするとなると負担が大きいので、常任委員会の件数や審議時間の短縮を考えると2つの委員会が必要だと思う。議員の側からもっと負担軽減について働きかけた方が良いのではないか。	常任委員会で調査している案件は現在2つの委員会で25～30ほどあるが、1つの委員会でこのままの件数に対応すると、委員長負担が相当大きくなる可能性があり、特別委員会でも議論をしている。ただし、常任委員会を少なくした方が負担は少なくなるが、常任委員会を数多くやっているから本会議がスムーズに進むというメリットもある。
1【議会】	○（議会）	本会議では、常任委員会で議員が内容について理解しており、質疑なし賛成多数で終わっている。しかし、本会議をスムーズに進めるために常任委員会があるという考えを、本会議で議論がぶつかっても良いという方向に変えても良いのではないか。今後のなり手や受け皿づくりのためにはそういった考え方の転換も必要なのではないか。あまりにもスムーズな本会議なので拍子抜けする。	他の町では常任委員会が少なく、本会議で様々な質疑や意見交換が行われ、審議時間がかかっている。常任委員会で調査している案件は議会から見ると調査すべきと判断して調査しているものもあれば、町側からぜひ調査してほしいと持ちかけられる案件もある。議会としては常任委員会で理解を深めて本会議で審議をするという考え方をしているが、本会議で質疑や意見交換が何も出ない状態を町民が見ると、何を議論しているのかわからない、という側面もあると思う。
1【議会】	○（議会）	毎年懇談会をやっており、これまでも何度か参加しているが、日向だけでも100人以上の人が住んでいるのに、たった5人しか人が来ない。せっかく各町内を回るのであれば、それぞれの地区に合わせて関心が持てるようなテーマを設定して参加を呼び掛けるなど、一人でも多くの参加者が集まり、多くの意見を聞けるような方策を考える必要があるのではないか。それぞれの地区で困りごとや事情は違うはずで、何かしら思っていることはあるのではないか。まったく何も無いということはないと思う。 ただ、毎年同じようなことを言って、ただ来てください、何かないですかと言われても人は来ないし意見も出ない。	議会としても町政懇談会や町内会要望などで町内会から町へ出された意見には目を通して、町内の団体などに声をかけて懇談会を行うなどして町民の声を聞くように心がけている。
1【議会】	○（議会）	若い立場から言うと、若い人たちは町の仕組みや決まり事が議会で決まっているということを知らない。例えば、国道の排雪は以前は1シーズンで2回ほど来ていたが、今は1回しか来ていないし、今シーズンはまだ来ていない。みんな不便だと思っているが、そういう時は役場に対して苦情を言うくらいしかできない。しかし、大元の決まりや仕組みを決める、変えるというのは議会だということを知らない。なので、自分たちの希望をかなえてくれるのは議会であり議員なんだということを子供たちに伝えていくということが続けていくと、議員という職業が子供たちにとって夢のある仕事だと見てもらうことができ、将来的に担い手が出てくるのではないかと思う。	去年中学校に出前授業を行った。昔は小中学生の頃に行政や議会と暮らしの結びつきについて触れる機会はなかったように思う。今回の出前授業もそうだが、即効性のある対策ではないが、将来的なことを考えると非常に大切な視点だと思う。議会や行政が身近なものである、ということを感じ、理解してもらえようようにすることは重要なので、議員に言えばどういふことができるのか？ということ町内会や町民にわかってもらえるように議員間でも議論をしている。
1【議会】	○（議会）	議決された議案は町広報にも簡単に載っているが、議会だよりでは詳細がわかるのでありがたい。	議会だよりでは議案について詳しく載せられるので活用してもらえれば。
5【除排雪】	●（町行政）		日向～慕舞の国道の除雪について、道幅が狭くなっているなど状態が悪いが、今日は1度も除雪に入っていない。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	福島はゴミが多いと聞くが、終活などで親や祖父母の家を整理する中で粗大ゴミが多く出るとい面があると思う。不用品の買取などもあるため、町で信頼できる業者を指定してもらい、粗大ゴミとして出す前に買取の可否を確認してもらおうという方法も考えられるのではないか。	そういった方法もあると思う。ゴミの減量化については町でも様々な対策を講じているが、決定的な対策が見つかっていない。町としては生ゴミが多いという認識であり、ゴミとして出す前に一絞りして出すようにという呼びかけや生ゴミ処理機の購入助成などを行っている。 千軒のゴミ処理場で福島から改修されたゴミの一部を確認したが、ビン、缶、ペットボトルなどを洗わずに出されているためリサイクルできずゴミとして処分されている。福島は特にそういった分別の不徹底や良くない捨て方が多いという説明を受けた。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	町内会でごみの減量化について町から説明を受けた際も、そういった説明を受けた。	きちんとしているつもりでも不十分な場合もあるということが議員の間でも話題となった。
7【環境・インフラ】	☆（説明済）	（渡島廃棄物連合議会にて、将来的には北斗のセンターへの持ち込みではなく、四町で新たにゴミ処理場を建設した方がトータルのコストダウンになるという話が出ているという平野副議長からの話を受けて）かなり大規模な事業になるのでは？	もしそうなれば間違いなく大事業になる。ただし、まだ具体的な話は出ておらず、将来的にそういった話が出てくるかもしれないという段階。そうなった場合は減量化対策について今よりももっと努力していく必要に迫られる可能性がある。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.5 (木) 18:00 ~ 19:15
 対象地区 館崎1、館崎2・3 (館崎2・3町内会館)
 参加議員 平沼議員、木村議員、溝部議長 (事務局:熊谷)
 参加者数 12人 (男8人、女4人)
 [対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○ (議会)	昔、吉岡村が独立して存在していたころは村会議員が各町内会に1人ずついた。	当時は人口も多かった。
1【議会】	○ (議会)	福島町と松前町の合併という話が合った時、福島町と松前町で議員をそれぞれ何人ずつ出すか、という話のときに福島は何人要望したのかあつときで10人だったと思うが、当時から8名という話があった。	合併議論のときは対等の形でやったらどうかというのが福島の考え。人口割にしてしまうと松前の方が人口が多いので松前の意見が通りやすくなってしまふ。なので、対等な形で対応しようということをして話をしていた。(合併協議当時の議論や状況について説明)
1【議会】	○ (議会)	10人が8人になると、大変だという話を聞いた。	議員が大変なものもそうだが、十分に議論が煮詰まるかという問題がある。
1【議会】	○ (議会)	女性議員がせめて1人は欲しい	以前在籍していた議員が亡くなってから女性議員がおらず、女性の視点での意見や質問がない。子供たちや家庭の問題については女性の視点というのは大事だと感じる。
1【議会】	○ (議会)	定数が何人がいいのかわからないが、選挙がないというのはよくないと思う。町民から選ばれた人が町のために頑張ってくれるのであれば町民としていいと思う。	昨年の懇談会でほかの地区を回った時も、若い人たちは水産や農業など専門分野をやっている人というのがない。今の議会でも佐藤さんが農業をやっている位。昔は組合長などがいたが、今はない。
1【議会】	○ (議会)	地域にいる一生懸命やってくれる人や人気者がいたように思う。	昔は岩部や浦和、日の出など各地区から議員が出ていた。地域の人が応援するなどバックアップが必要。
1【議会】	○ (議会)	40代など若い世代がいない。役場職員以外だと全然いない。	今の状況だと10年もたない。
1【議会】	○ (議会)	町民の意見を町に反映させるためには議員が必要なので、そういうことを考えれば定数は10人でもいいと思っている。それだけちゃんとした考えをもっていないといけないと思うが。	
1【議会】	○ (議会)	人口が減ったからといって議員の数を減らすというのは意見が偏ってよくないんじゃないかと思う。なので、最低限確保するというの賛成する。9人賛成。	
1【議会】	○ (議会)	水産関係、議員自身が現場を知っている人ではないと、突っ込んだ議論ができない。	専門でない分野はどうしても又聞きになってしまう面がある。各産業団体などに声をかけているが、仕事との両立が難しいなどで良い返事はもらえていない。
1【議会】	○ (議会)	水産のことでなんでもそうだが、実際にどういう風にやっているのかということは現場に足を運ぶ、顔を出すということをしていないと一般的な話しかできないのではないかな。	現場に足を運ぶことは重要だと思っているが、なかなか十分にはできていないのが実態。
1【議会】	○ (議会)	なり手がいないというのは福島町だけではなく北海道全体で同じような話がある。なぜなくなったかということ、やはり面倒くさいということがあるのではないかな。	出てやるか、という気持ちだと面倒くさいとかそういう気持ちが出るが、地域のためにやりたいと思えば仕事やりながらでもやろうと思えるのではないかな。
1【議会】	○ (議会)	しかし、地域のためにという気持ちだけで頑張れるような人は少ないのでは。	生活を重視して、休みは家族と過ごすなどそういった暮らし方が一般化しているものもあるのかもしれない。
1【議会】	○ (議会)	中学校で地方自治を学ぶとかそういったことはよいので、子どもたちに教えていくということは大事だと思う。	中学3年生は15歳、10年後には選挙に出られる、そういう話もしてきた。
2【熊関係】	☆ (説明済)	館崎で熊の足跡を見つけて、役場に連絡しハンターさんに確認してもらっている。	函館で出たという話もあるが、十分注意してください。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
4【産業観光】	☆（説明済）	メモリアルパークはどこで管理しているのか？観光客などからどこにあるのかと尋ねられることがあるが、雑草などがぼうぼうと伸びており、期待したようなものになっていないように思う。以前町に質問したことがありやっているというが、まだそのままらしい。特に花見時季の観光客に場所聞かれることが多いので、草刈りの対応をお願いしたい。	年に何度か草刈りの対応はしている。
4【産業観光】	☆（説明済）	天皇陛下の歌碑などがあるのに粗末だ。	一連のメモリアルパークに関する内容は確認して言うべきことは伝えます。
4【産業観光】	☆（説明済）	竜飛をまっすぐに見えるという話で作ったはずだが、草むらが茂って見えなくなってしまっている。	一連のメモリアルパークに関する内容は確認して言うべきことは伝えます。
4【産業観光】	☆（説明済）	メモリアルパークに函館山のように望遠鏡をつけてほしい。	一連のメモリアルパークに関する内容は確認して言うべきことは伝えます。
4【産業観光】	☆（説明済）	記念碑のある高台との境目にガードレール（柵）がないので、落ちるのではないかと心配。安全のための柵がほしい。	一連のメモリアルパークに関する内容は確認して言うべきことは伝えます。
4【産業観光】	●（町行政）	町政懇談会でも話した内容だが、陥没箇所がある斜路に砂利を上げてもらったが、処置するまでそのままにしていたら時化で流された。去年7月にも再度お願いしたがコンブ時期だから後でと言われてそのまま。その後、予算がないと言われた。もう1年も経つ。	担当課に確認し、しっかり伝えます。
6【防災】	☆（説明済）	テント式パーテーションというのはどういうものか？すべて囲うテントなのか、屋根だけのものなのか。何のために購入したものなのか。	避難用に購入したもので、すべて囲ってチャックで開閉できるようになっている。災害で避難した際にプライバシーの確保ができないという課題があり、その対策として購入したもの。
6【防災】	☆（説明済）	メモリアルパークに避難したが、トイレで苦労した。シャッターがしまっていて使えなかった。	水洗トイレなので冬は使えなくなっている。
6【防災】	☆（説明済）	メモリアルパークのトイレについて。誰がやったかわからないが、しばらく前から壊れてしまっている。雪が降る前からずっと工事している人たちがいるが、役場に言っても直してくれず、今に至る。津波警報の時は困った（7月末）。役場が適切な処理をしておけば使えたのでは。冬に止めるのは知っているが、その前から使えなかった。役場に言っても直してくれない。	それは明日にでも早急に役場に連絡をするべきだ。早急に役場に言い確認します。
6【防災】	☆（説明済）	メモリアルパークトイレ、女子トイレ2つあるうち1つは使えたが、シャッターが下されており、故意に壊したわけではないが大事に使ってください。と張り紙されていた。（7月末）	緊急時の避難場所としてJRの駐車場もトイレも使っていいことになっている。ただ、街灯がない。
6【防災】	☆（説明済）	災害で避難したときに、ダンプカーがメモリアルパークにやってきた。狭い道路なので大型車両が来るとほかの車も大型車両自体も身動きが取れなくなる。	避難の際は大型車両が狭い道を通ると支障があるので、大きい道を通るようにするなど考えるべきだと思う

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.5 (木) 18:00~18:50
 対象地区 月崎1 (月崎1 町内会館)
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、杉村議員 (事務局: 鍋谷)
 参加者数 8人 (男5人、女3人)
 [対応凡例: ○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆ (説明済)	議会改革の内容を載せているが、決まったことだけでなく、今2つの委員会があることについて、なぜ2つの委員会が必要だったのかの説明等を知らせないと1つにする意味がわからないと思う。委員会が1つにするメリット・デメリットを知らせないと意見も出しづらい。	その点については説明不足だったと感じています。現状でも委員会はほぼ全員出ている状況なので委員会を1つにしてもデメリットはあまりないと思っています。
1【議会】	☆ (説明済)	委員会を一つにして委員長の負担が大きいのであれば、それに見合う報酬にすればよいと思う。その代わりにやることはちゃんとやってもらえればよい。	昨日の懇談会でも同じような意見が出ていた。全国的な問題で報酬を上げた所もあるが議員数を減らした所もある。意見として伺っておきます。
1【議会】	○ (議会)	議会だよりは見やすくなったが、働いている若い人は行政・議会に興味がないのが現実。我々の年代であれば広報も見ようと思うが、若い人は目線が違う。若者に目を向けさせる工夫が必要だと思う。	我々もそれは感じており、色々考えているが難しい。
1【議会】	○ (議会)	今回の議会だよりに熊を何頭とった等結果を載せているのは良い。町広報も議会だよりも、補助制度があるとか条例を議決したとかは載せるが、その結果を知らせないのは何故かと思っていたので。	大事な点だと思います。今後の議会だよりの作成の参考にさせていただきます。
2【熊関係】	☆ (説明済)	今日のニュースで函館市でクマが出たと聞いたが、福島町は大丈夫なのか？	そのニュースは聞いている。町内も気を付ける必要があるが、おそらく大丈夫だと思います。
2【熊関係】	☆ (説明済)	熊撃退スプレー、購入の補助等はないのか？	そういった補助はない。町は昨年は事故後、広範囲を電気柵で覆う対応を取り市街地に出てこないようにしている。
2【熊関係】	☆ (説明済)	新聞では、札幌で熊を猟銃で打って警察に捕まった件が報道されていたが、福島町のハンターは大丈夫なのか？	その件は札幌のゴルフ場で熊を撃つ許可を得ていないハンターが、熊が出没している所に行き行って撃ったので緊急性が認められないため捕まったケースで、町内のハンターには当てはまらない。
2【熊関係】	☆ (説明済)	福島町で熊を撃てるハンターは1名しかいないと聞いている。町はハンターを増やさないのか？	現在ハンターは4名いるが、銃猟に対応できるのは1名となっている。銃猟のためのライフルを所持するには10年程度経験年数が必要なため、直ぐに増やすことは困難です。
2【熊関係】	☆ (説明済)	ゴミ出しの注意は、今年も続くのか。生ごみをためておく問題もある。熊が家に入ってくる危険もある。	ゴミ出しのルールは続きます。熊に荒らされない頑丈なゴミステーションもあるがかなり高い。
2【熊関係】	☆ (説明済)	熊対策として昨年やったような草刈りは今年もやってもらえるのか？	行くと聞いています。
2【熊関係】	☆ (説明済)	青少年交流センターの門限は何時なのか？高校生も不安では？	10時と記憶しています。
4【産業観光】	☆ (説明済)	道の駅、何年か前に移転するような話も出たと記憶しているが、その後どうなったのか？たまたまトイレに入ったりしているが、トイレの数が全然足りないと思う。	移転の話は今では止まっている。昨年からは管理を「まちづくり工房」にお願いし、建物もリニューアルして好評を得ている。トイレの数については、そのとおりだと思うが数を増やすのは立地的になかなか難しい。
9【その他】	☆ (説明済)	第2青函トンネルの情報、今の動きを教えてください。	国会議員、道議会議員、青森県今別町など機運は高くなってきているが、北海道全体の熱量は低い。知事も札幌延伸が第1優先で第2青函はその後という認識。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.6 (金) 17:54~19:03
 対象地区 月崎2 (月崎2 町内会館)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長 (事務局:角谷)
 参加者数 7人 (男3人、女4人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○(議会)	議員の間で確認が済んでいるのであれば、町民が何を言ったからといって変わらないのではないかと	そういうことではない。例えば定数について、今回の懇談会で9名という方向に対して反対意見が多ければそれを踏まえて委員会で協議していくことになる。これまで回ってきた地区でも様々な意見をいただいている。
1【議会】	○(議会)	議員は少ないよりも多い方が良いと思う。なので、10人以上いても良いと思っているが、それで定数に足りずに定数割れになってしまっは良くないので難しい。	他の地区でも議員が多い方が民意を伝えやすいということも多くいた方が良いという声はある。
1【議会】	○(議会)	女性議員は今いないのか?	おりません。
1【議会】	○(議会)	追加募集して応募のあったという2名の内1名でも女性はいるか	2名の内、1名は女性です。自主的な応募はなく、議員一人ひとりが声掛けをして応募していただいた。
1【議会】	○(議会)	議員に定年などの考え方はないのか。	ありません。そういった制度を作ってはどうか、という意見はある。
1【議会】	○(議会)	思い切って歳費を倍増する位大きく上げたら立候補者がたくさん出てくるのでは。	可能性はあると思う。
1【議会】	○(議会)	現在の歳費21万程度では、議員専任として暮らしていけない。最低賃金さえ下回っているのではないかと	他の地区でも歳費を上げた方が良いのではないかとという声はある。若い人や子育てしている人は生活していけない。今の議員は皆年金収入や他の仕事を持っているので生活している。
1【議会】	○(議会)	若手に立候補しろと言っても、今の給料よりも低い歳費額では立候補しないと思う。	そういった声もある。道内の栗山町では若者の立候補を促す狙いで大幅な増額を行っている。
1【議会】	○(議会)	議員はボランティアという考え方はないのか。年金生活者の方が大変。	昔は、議員は名誉職という考え方もあったが、今はそういった考え方はない。
1【議会】	○(議会)	責任はある、お金は出ない、というのは大変だろうと思う。	議員の活動日数は年間118日位となり、会議の回数も多い。
1【議会】	○(議会)	年間で生まれる子供が10人を切った。見るうちに子供が減っていく。知内や北斗では婚活など、少子化対策の中でも出会いの場を作る事業に力を入れているが、福島ではそういった事業がない。子供を産んだ後のことも大事だが、その前の部分も大事ではないか。外国人がいなければ産業が成り立たないようでは大変な状態である。第2青函トンネルの工事が始まるなどすれば状況は変わるのかもしれないが。	今後も一般質問などで訴えていきたいと思う。
1【議会】	○(議会)	第2青函トンネルの件はどうなっているのか?	国会議員でも第二青函トンネルに関する議員の協議体が作られるなど、福島町以外でも少しずつ進んできており、北海道や青森でも議員が動いているので、今後はより動きが進んでいくのではないかとと思う。ただし、道内では北海道新幹線の札幌延伸の遅れ対策が優先されている。
2【熊関係】	☆(説明済)	7月に出没した熊は自宅のそばで駆除された。駅伝のコースでも出没していたことや目撃情報からして、ニュータウンから降りてきていたように思う。電気柵が設置されたことで安心感があったが、今後も電気柵の設置と草刈りを町内会として町に要望しているので、議会でもバックアップしてもらいたい。	議会としても熊対策として電気柵の設置と草刈りの実施は継続的に対応するよう町に意見している。国の予算措置などが強化されているので、これまで以上にしっかりと対応していく必要があるが、人員不足などの課題もある。より効果的な対応のためにも、各地区から議員や町に対して速慮なく情報を提供してもらいたい。昨日も館崎地区で熊の足跡が目撃されたという話もあるので、引き続きゴミ出しのルールを徹底するなど注意してほしい。
2【熊関係】	☆(説明済)	電気柵を設置するのはよいが、電気柵についての説明や注意書きが不足しているのではないかと。子どもたちが誤って触れると大変なので、注意書きや危険性の周知を強化してほしい。学校では子どもたちに電気柵の注意点や危険性を伝えているのか。	瞬間的に大きな電気が流れる仕組みであり、触れると危険なのは間違いない。教育委員会を通して学校に伝えるよう話をしておきます。 →2/8 教育委員会事務局長に確認。学校では子供たちに電気柵に触れないよう注意を呼び掛けているとのこと。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
6【防災】	☆（説明済）	昨年の年末に防災関係で町総務課の職員等と避難路などについて話し合いを行ったが、そういった内容について議会では話を聞いているのか。	議会でも先日常任委員会で説明を受け、議論している。
6【防災】	☆（説明済）	昨年夏の津波警報を受けてニュータウンにかなりの人数が避難したが、水などの物資配布も中々行われず、いつまで滞在していればいいのか等の説明もなく、自己判断で動かざるを得ず困った。	議会でもその点については議論し、意見している。
6【防災】	☆（説明済）	（学校跡地のグラウンドに避難場所を設けるという議員の発言に対し）避難先の建物を創るのはいいが、階段だと登れない人が多いのではないか。	自然な坂道やスロープなどをつける考えがあるようだ。
6【防災】	☆（説明済）	ニュータウンが避難地域になっているが、会館からニュータウンへ向かう小さな橋がボトルネックになっており、拡幅などの対応を要望しているが、町からは対応は難しいと回答を受けている。	議会としても避難先の整備について検討を急ぐよう意見している。
6【防災】	☆（説明済）	ニュータウンへの避難は月崎1、月崎2、塩釜の3方面から人が来るが、道や橋の狭さがボトルネックとなり困っている。	以前も同じような話があり、土地所有者との関係などもあり大幅な拡幅はできなかったものの、時少し拡幅をして現在に至っている。しかし、昨年2回ほど大人数が避難したが、多くの人が車を使って避難している。また、橋の拡幅については月崎1からも要望している。
6【防災】	☆（説明済）	ニュータウンに避難した際、公衆トイレなどはないため、個人宅のトイレをお借りしていた。	避難先のトイレ整備についても議会で議論し、町へ意見している。
6【防災】	☆（説明済）	トイレカーはどこに設置するのか？	普段は役場裏の車庫に駐車しているが、災害発生時は必要な個所に自走し、使用する。
6【防災】	☆（説明済）	月崎2 会館横の橋のように狭い場所も通れるのか？	通れるはずだ。ただ、町内には狭い道も多いため、軽トラ型のトイレカーも用意する予定だと聞いている。
6【防災】	☆（説明済）	役場からは車での避難を推奨すると言われたが、結果的に車で避難するのは時間がかかるのではないか。	どこにどう避難するかにもよるが、狭い道や渋滞による影響は考えられる。しかし、徒歩での避難が難しい方を連れて避難するには車が必要になる。
6【防災】	☆（説明済）	橋の拡幅については何度も役場に要望しているが、難しいと言われている。	津波避難対策について国からの予算措置があるため、町単独で実施するのは事情が異なる。町ではニュータウンを避難場所として指定している以上、避難場所まで行く道を整備する必要があると考える。役場に対しては議会からも伝える。
6【防災】	☆（説明済）	避難場所としては学校が一番いいのではないか。トイレもあるし、雨風の心配もない。	

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.6(金) -
対象地区 塩釜、浦和、岩部(塩釜町内会館)
参加議員 平沼議員、木村議員、溝部議長、杉村議員(事務局:鍋谷)
参加者数 0人(男0人、女0人)
〔対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済〕
18時20分時点で参加者が居なかったため中止。

分類	対応	町民の発言	議員の説明

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.9 (月) 18:00~19:00
 対象地区 緑町、丸山団地 (福祉センター)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長、藤山議員 (事務局:角谷)
 参加者数 3人 (男3人、女0人)
 [対応凡例: ○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○ (議会)	議会だよりは少しずつ読みやすくなっているように思う。町民の声などが載っているのが良いと思う。	
1【議会】	○ (議会)	何人が良いのかはわからない。	
1【議会】	○ (議会)	渡島管内で、福島と同規模の自治体では議員定数が何人になっているのか。	知内は維持、鹿部や松前は減らす方向と聞いている。
1【議会】	○ (議会)	道内で議員定数が一桁という町はどのくらいあるのか。	それほど多くないと聞いている。
1【議会】	○ (議会)	あまりに議員を減らしすぎると議員活動が十分にできるのか疑問がある。人数が少なくなったから委員会を減らすという説明もあったので。	人数が少ないことによる負担は大きい。
1【議会】	○ (議会)	委員会が一つになることで、会議への出席日数が多くなり、議員の負担が大きいのでは。	負担が大きくなることは事実だが、仕方がないと思っている。
1【議会】	○ (議会)	初めから減らす方向で話をしているように聞こえる。減らすというと所数精鋭など良く聞こえる部分もある。しかし、様々な役割を担い仕事をしていることを考えると、減らさなくてもよいのではないかと。国は減らす方向のようだが、国は国、町は町の事情に合わせて考えれば良いのでは。	
1【議会】	○ (議会)	歳費に関して、議員歳費だけでは生活できないという話もあれば、議員は名誉職だからと低く抑えてきた経過もある。	福島では現在、福島町方式という形をとっている。上げるとしても簡単には上げられない。
1【議会】	○ (議会)	追加公募した諮問委員に女性はいるのか。	追加公募で応募のあった2名のうち1名は女性。
1【議会】	○ (議会)	それはよいことだ。	諮問委員になった人が議員に立候補してくれるかはわからない。本人の考え方や家族の理解が必要なので。
1【議会】	○ (議会)	給料が上がったからといって、簡単になり手が増えるものだろうか	他の地区では大きく上げて全国公募のようなことをしてみても?というアイデアもあった。発案者は冗談だと言っていたが。
1【議会】	○ (議会)	高齢者は若い人を育てていくという意味が必要だと思う。	高齢議員が多いと若い世代が非常に立候補しづらいという声も聴く。
2【熊関係】	☆ (説明済)	今年、パークゴルフ場に熊対策の電気柵を設置する予定はあるのか。	今年は予定していると聞いている。議会でも町に対して設置するよう意見をしている。
2【熊関係】	☆ (説明済)	昨年設置した場所以外にも設置する予定はあるのか。	当初設置した分や、昨年中に追加で設置した分の隙間を埋めるように設置していくという話を聞いている。電気柵そのものは効果があった。
2【熊関係】	☆ (説明済)	電気柵の撤去時期が思ったよりも早いように思うが。	設置時期や設置期間を具体的に今回答えることはできないが、電気柵そのものは通年で設置したままにできるものではないため、雪が積もる前に撤去する必要がある。また、適切に効果を発揮させるためにはこまめな草刈りなどの管理が必要。設置、撤去共に職員が対応しており、相当な労力がかかっている。
2【熊関係】	☆ (説明済)	桧倉地区に熊用の監視カメラがついたとテレビで報道されていたが、活用状況は。	監視カメラの映像を確認するなどしていると思う。
2【熊関係】	☆ (説明済)	熊による人身事故が発生した際に、町が報道機関からの質問に対し「経験があまりない」という答え方をしており、仕方がないという雰囲気を感じた。その後、熊の専門家やマスコミからは「もっと早い段階で対策ができたのではないかと指摘されている。福島町では白符での人身事故の他、千軒でも事故があるなど熊による被害がここ数年何度も発生していたことを考えると、危機管理としていかなるものかと感じた。	熊の頭数自体が多く、捕獲や駆除を行っても別の熊がそのエリアにやってくるような状況がある。鹿の生息数も増えており、鹿がいる場所には熊もやってくるという意識で対策するよう議会から町に対して意見している。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
2【熊関係】	☆（説明済）	ここ数日、熊への注意を呼び掛ける防災無線が流れるようになったが、熊の出没が落ち着いていた時期は一切放送がなく、出没情報が出てから放送という形で対応が後手で遅い印象がある。議会から改善するよう話してほしい。	先日、町内館崎地区で熊の足跡が目撃されたが、現在放送されている内容は「渡島管内で痕跡が発見された」というもの。この点は改善の余地があると思う。
2【熊関係】	☆（説明済）		熊対策全般については今年度も強化する方向で考えているということで、議会としても注視しながら対応していく。ただし、熊対策を行う場合、時には苦情電話が役場に殺到して仕事に支障が出るといった問題もあると聞いている。
6【防災】	☆（説明済）	津波等による避難指示の放送が日本語だけだったが、町内には外国籍の人たちもいる。そういった人たちへの対応は考えていないのか。英語で放送しろだとかそういうことではないが。	外国籍の方々の多くは技能実習生などでまとまって生活しており、町全体への対策というよりも、ピンポイントで対応した方が効果的だと思う。
6【防災】	☆（説明済）	昨年の避難時は自分自身もどこへ逃げれば良いかわからなくなった。ハザードマップや、スマホで情報を見て逃げれば良いというが、高齢者はスマホで確認したり、ハザードマップを見たりできないのではないかな。	行政だけで全てを完全に対応するという事は難しいと思う。日常的に接する町内会や近所の人たち同士で声を掛け合い話し合うなどして情報を共有、周知していくしかないのでは。町でも様々な対策を行っており、町が果たすべき役割もあるが、最終的には一人ひとりの心がけが大切だと思う。
8【町内会】	☆（説明済）	町内会役員のなり手もおらず、色々な役割で人手を頼まれるが見つからない。	若い世代が昔ほど行事等に参加しないほか、そもそも高齢化率が高くなっているという問題がある。
9【その他】	☆（説明済）	町で様々な支援事業を行っているが、町の財政は大丈夫なのか。	多くの支援事業は国からの補助金などを活用して行われており、町の一般会計から大量に支出しているようなことはあまりない。そのため、各種補助事業によって財政に影響が出るという状況ではない。なお、財政調整基金だけで10億以上あり、その他の基金も合わせると20億近くあるため、今すぐに北見市や昔の夕張市のような財政の危機的状況に陥るといった心配はない。ここ数年様々な大型の建物建設が続いているが、その際に利用した公債の返済についてもバランスをとりながら計画的に行っており問題ない。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.9 (月) 17:55~19:06
 対象地区 新栄町(新栄町集会所)
 参加議員 平沼、木村、溝部、小鹿議員、杉村議員(事務局:鍋谷、熊谷)
 参加者数 4人(男3人、女1人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	☆(説明済)	議会の運営、毎月開催しているのか?	案件があれば開催している。今年度は7回程度開催しており、今月も開催します。
1【議会】	○(議会)	議会のこと、今日の説明のとおりで良いと思います。	
1【議会】	○(議会)	行政と議会は違うと思う。 定数の問題は、議員は町民の声を聴いて町に伝える立場なので減らすのは町にとってマイナスになると思っているので9人とするのは反対。 人数が減ると議会の運営もうまく行かないと思う。	人数を減らすと声が拾いづらくなるのは、その通りだと思います。
1【議会】	○(議会)	議員の考え、町長や職員と議員は違うので上げれば良いと思う。	今の報酬は諮問会議に諮問し答申をもらったうえで決めているので、他町のように他が上げたから自分の所も上げるといったことはしていない点は理解してほしい。
1【議会】	○(議会)	議員報酬上げればやるって人はいないのか? 町のためなのだから、10名はキープ、歳費も2~3万円程度上げて行かないと福島町のこれからが心配。	今の報酬では生活できないとは思っているが、報酬は渡島でも高い方となっている。なかなか難しい。
1【議会】	○(議会)	産業の町。養殖コンブやってる若い人もいるのだから、議長・副議長が組合に行ってお願ひしてくることも必要ではないか。	組合等にお願ひはしている。 特別委員会では、漁業者等の繁忙期への対応なども議論しているが、なかなか難しい問題と認識している。
1【議会】	○(議会)	女性議員は必要だと思う。 地域で推してあげれば良いのだが。	諮問会議の委員には女性も若い人も居るが、色々と障害があるようだ。特に女性は家族から止められると聞いている。 海外のクォーター制のようなことができれば良いが国も出ていないので難しい。 先進地を視察したが、地域のバックアップは必要と感じた。
1【議会】	○(議会)	議会モニター、諮問委員を増やしているが今言ったようなことを委員が役割を理解しているのかと思う。	議会モニターは実績があったので取り組んだが、公募しても応募がなく議員が声をかけて集めている状況。会議等、色々出てもらっているが、難しいことは理解してほしい。
2【熊関係】	☆(説明済)	町の対応は早かったと思うが、ハンターの問題、もう少し居れば良いけど… シカも最近多いようだ。先日は家の前で寝ていたこともあるし、2回も3回も事故を起こしている人も。何らかの対策を考えないと	ハンターの問題はあるが、町も電気柵等で対応している。 シカも山に食べ物がないのか街中に出てきているのは感じている。 道で小さいシカでも居ればドキッとすると、冬の今でもクマが出ていると聞いているので心配している。
8【町内会】	●(町行政)	会館の改修が今年予定されているが、特に厨房の改修をお願いしている。月崎1の会館の改修では改修後に実際に使ったら使いづらい状態だったとのことなので、気にしている。 また、最近は集会等で集まっても椅子がないと座れない状況になっているので、改修に合わせて椅子とテーブルも整備してくれると助かります。	行政に伝えます。言えば理解してくれると思います。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.10(火) 18:00~18:53
 対象地区 三岳1(三岳1町内会館)
 参加議員 佐藤議員、熊野議員、平野副議長(事務局:角谷)
 参加者数 2人(男2人、女0人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○(議会)	議員定数について、あまり議員を減らしてしまおうと活動が大変になると思う	委員会を一つにしなくてはならないなど、会議の出席頻度が増えて負担は増えると思う。
1【議会】	○(議会)	なり手がいないことがまず問題	議員だからということで町の行事やイベントに出席する必要があるなど、会議以外の活動負担もある。
1【議会】	○(議会)	昔は三岳だけで議員が3人いた時代もあった。	昔はタクシー代や日当が出ていた時代もあった。今はそういったものは一切ない。
1【議会】	○(議会)	議員年金などもあったが、今はなくなったと聞いている。	その通り。だいぶ前になくなった。
1【議会】	○(議会)	定数はとりあえず9名でいいのではないか。	
1【議会】	○(議会)	立候補してはどうかと勧められたことはあるが、雇われて働いている身では両立が難しい。	若い人たちに立候補を呼び掛けても同じ反応をされている。
1【議会】	○(議会)	議会だよりは見やすくなってきている。	工夫して作っているのでぜひ読んでもらいたい。
2【熊関係】	☆(説明済)	熊対策で町内各地の草刈りを行ったが、あれは町の負担か?個人の所有地も刈っていたようだが、所有者には連絡をしているのか?	個人の土地を勝手に対応することはできないので、連絡していると思う。
2【熊関係】	☆(説明済)	7月の熊事件を受けて自宅裏の草刈りをしたところ、熊の足跡があり驚いた。	背の高い草が茂みになっていると、中に熊が潜んでいてもまったくわからず怖いと思う。
2【熊関係】	☆(説明済)	今年も草が伸びてきたらそこを通して熊が来るのではないかと不安を感じるので、草刈りは実施してほしい。	今年も引き続き実施する方向だと話は聞いている。
2【熊関係】	☆(説明済)	自分の土地に関しては草刈りなど管理できるが、隣の敷地などは手出しができません草が伸び放題になっている。	過疎の影響がこういったところでも出ているように思う。
3【教育】	☆(説明済)	今年高校の寮に入るのは15人と聞いた。	上限が15人となっている。
3【教育】	☆(説明済)	近所の子供が今年高校生になるが、福島商業には入らず別の学校に行くときいた。	本人のやりたいことによっては、外に出る選択になるのだろう。
8【町内会】	☆(説明済)	町内会の役員さえやる人がおらず、苦情はいうものの役員を頼むと嫌だと言われる。	あらゆる分野で人出が足りなくなっている。
8【町内会】	☆(説明済)	町内会そのものに入らないという人も増えてきた。回覧板も何もいらないので会費も払わないという。理由を尋ねたところ、その方が楽だからという。高齢であっても構わないでほしいという人が増えているようだ。	
8【町内会】	☆(説明済)	春と秋の交通安全で街頭啓発を行っているが、町内会の中でも立てない人がいると期間に対して人数が足りず、同じ人が二回立つことになるなど負担が多いという声や不満の声がある。	
8【町内会】	☆(説明済)	国道沿いに立ってさえいれば良いのであって、場所まで指定しなくても良いのではないかという意見もある。少しわがままになってきていると感じることもある。	身内に子供がいると感覚が少しは違うのかもかもしれないが、町の子供が少ない。
8【町内会】	☆(説明済)	交通安全街頭啓発は子供たちのためだけではないという話はしている。先日、役場に対して街頭啓発の際は決まった場所に立たなくてはいけないかと確認したところ、そういったことはないという回答もらった。	この辺りでは木古内町がよく街頭に人が
8【町内会】	☆(説明済)	この辺りでは知内がよく立っているのでは?個人というより交通安全協会のような団体でやっているようだ。	街頭啓発は自分自身も立っているが、子供は数えるほどしかいない。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.10(火) 17:57 ~ 19:03
 対象地区 三岳2(三岳2町内会館)
 参加議員 平沼議員、溝部議長(事務局:熊谷)※木村議員欠席
 参加者数 3人(男2人、女1人)
 [対応凡例:○議会対応、◎町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
2【熊関係】	☆(説明済)	熊、シカ、山鳩、ネズミそれぞれ被害が多いので電気柵を町の方で補助考えてくれないか。個人的に電気柵9箇所(全部自費)やっているが、全面的には厳しいので、役場にお願いたしが出せないと言われた。	電気柵は確か貸出。札幌の小金湯温泉近くの果物農園さんに聞いた対策方法を説明。チューインガムをちぎってネズミの餌として撒いて食べさせて糞詰まりして死んでしまう。その他、仏壇等で使った残りのロウソクを溶かしてナッツも混ぜる。ロウソクの成分パラフィンがネズミの体内に入ると脱水症状を起こして殺傷効果があると聞いた。それをやってから見なくなった。
2【熊関係】	☆(説明済)	熊は電気柵の下を掘っていく。昔の熊は逃げていくが、今の熊は逃げて行かない。よだれを垂らしながら向かってくる。	福島としては去年の7月の事故があったので、また福島かと言われたいにもヒグマ対策は積極的にやっているの、電気柵の件についても聞いてみます。農業関係の方にも少しでも補助できないか。
4【産業観光】	☆(説明済)	農家で言っているんですけど、ネズミが増えて困っているが、対策は何か考えているのか。	ネズミ対策を考えている最中に熊騒ぎで話が飛んだ。家庭菜園のイモが全滅。商売している人は大変だと思う。良いと言われる対策は色々試している。
4【産業観光】		千軒そば3町歩やっていて、今年の売上が1万2千円しかなかった。多い時は200万から300万ある。	
4【産業観光】		シカは8mとかの電気柵を簡単に飛び越える。仲間も呼ぶから30頭とか頭数が多くリンゴだとかサクランボが毎年大損害。	
4【産業観光】		被害が多く、誰も農家をやりたがらない。買った方が安くつく。	
4【産業観光】	☆(説明済)	畑をやめたいけど次やる人もいないし、そこを放置しているとシカ・熊の温床になってどんどん来て山との境目がなくなる。	電気柵を町として補助を。一番いいのは団体の方々に補助を出しやすい。個人ということになると、他から見ると不公平になるので、団体的なものをもっと強固にしてもらって、団体で町の方にお願ひしてもらったほうがスムーズに進む可能性があると言明。
4【産業観光】	☆(説明済)	福島は団体という感覚がない。後継者もない。	漁業も同じ。養殖コンブを1つの企業としてやってみてはどうですかと提案しているが、団体という感覚がない。まだそこまで危機感がない。同じ業者の人達で団体をきちんと強固なものにして、強固なものになった段階で町の方に困っている旨を伝えて何とか補助というような体制づくりがあれば。我々議会としても今回お話を聞いたので、議会として実態をもう少し町の方に届けて、電気柵の補助や何らかの手配なり、当人のところに来て説明するなどの方法を手助けできればと思う。議会が予算を持っているわけではないので、やる・やらないとこの場では言えないが、町へ伝えることはできますので。
4【産業観光】	☆(説明済)	福島に魅力ある仕事がないと、福島で変わったことをしたい。と高校生にアルバイトで使ってくれないかと言われた。リンゴ娘でもサクランボ娘とかそういうのがやりたいと。農業で黒米だとかブルーベリーだとかやっているの、農林課に聞いた。町が頭になって、高校生に選別させたり全国に販売したりしたらいいのではと言ったら、町としてはそういうことができないと言われた。組合としてやっているの、それぞれ頭がいて役場ではできないし、頼めないと言われた。	町の特産品でもあればいいのだが。

分類	対応	町民の発言	議員の説明
4【産業観光】	☆（説明済）	試験的に2, 30本ですけどポポーという果物を作った。バナナみたいにすごく甘い果物。始めてから10何年で実がなって、それを森林組合に行って試食してもらったら、すごくおいしいし道南で誰もやっている人がいないから広めたほうがいいと言われた。数を増やしてできればハウス事業でもやっていこうとしたが、馴染みもないし、作っているのは俺だけ。色々試験的に作って、もっと特産品にすればもっと若い人達もどんどん仕事が増えていいかなと思うんだけど。	町の特産品でもあればいいのだが。
4【産業観光】	☆（説明済）	千軒そばは継続していきたい。	佐藤議員を飛び越えて農業等の話はできないので、佐藤議員にこういう要望が出たということを確認しながら、町側と協議したいと思います。
5【除排雪】	☆（説明済）	6時半頃、開発が除雪したあとの残雪（硬くて重い）を町の方で入ってくると助かるんだけど。専門的な機械持っている人と持っていない人がいる。	三岳には専門的な機械持っている方々多いのでは？開発の人も朝早くからで大変。お互いに理解しあいながら過ごさないと。
5【除排雪】	☆（説明済）	排雪してくれないと雪を捨てる場所がない。	今年はどこも雪捨て場所がない状態。
5【除排雪】	☆（説明済）	ロータリーももうちょっと中に入ってくればだいぶ違う。	今年はどこも同じような状態。
8【町内会】	☆（説明済）	独り暮らし、障害者にはフォローが必要。部落ごとで声掛け（チームワーク）が必要。孤独死も心配。	民生委員、社協さんもなかなか手が回らないし、田舎ならではの対策を模索していかないといけない。
9【その他】	☆（説明済）	毒蛾（毛虫）対策、春先に被害に遭う前に気をつけるよう防災無線を早めに流してほしい。	町へ伝えます。
9【その他】	☆（説明済）	後期高齢者じゃなくても肺炎球菌ワクチンみたいに補助でないものか。肺炎に罹った場合に医療費を少しでも半額にできないものか。私は塵肺で20何年になり、後期高齢者になっているから安くなっているが、肺炎で入院している人もいる。後期高齢者じゃなくても半額になるとかそういうものはないのか。	塵肺関係は国で対応している。基本的には労災絡みのトンネル工事等の関係で対応している。それ以上というのはなかなか難しいと思います。医療関係は国自体の制度なので。

町民と議員との懇談会 報告書

開催日時 R8.2.10(火) 17:55~18:54
 対象地区 千軒(千軒町内会館)
 参加議員 藤山議員、小鹿議員、杉村議員(事務局:鍋谷)
 参加者数 5人(男3人、女2人)
 [対応凡例:○議会対応、●町行政対応、☆説明済]

分類	対応	町民の発言	議員の説明
1【議会】	○(議会)	定数、10人から9人とあるが、9人にする根拠は？ 人数を減らすと議会運営も大変になるのでは？ 人口が減って、議員も減って心配している。	定数維持や8人といった意見もあったが、現在の議員数や議員からの意見で9人が多かったため。 結論はまだ出ていないので、懇談会で意見をもらって議論していきたい。
1【議会】	○(議会)	委員会を一つにするとしているが、それだと議論しづらくないのか？ 委員会に全員となると議会と変わらないのでは？	今も委員外議員という形で入っている。 現状の2委員会でも正副議長がどちらにも入って何とかやっている状態なので議員定数を考えると1委員会が良いのではと考えている。
1【議会】	○(議会)	議員のなり手の問題は前からあった。 今の議会は女性議員がいない。女性議員が必要だと思う。なんとか声を掛けて探してきてほしい。	これまでも声掛けは行っているが良い返事はもらえない。家庭に止められることや、選挙で落ちると恥ずかしいといった気持ちもネックになっているようだ。女性というだけでスムーズに議員になれば良いのだが難しい。
1【議会】	○(議会)	町政に興味をもっている人はいないのか？	以前、高校も全国募集してるのだから、議員も全国募集すれば良いといった意見も言われたことがある。
1【議会】	○(議会)	報酬、自分は上げろと思っている。その代わり真剣に福島のために働いてほしい。	他の会場でもそういう意見が出ている。自分としては上げるべきと思っているが算定方式を決めているので難しい。
1【議会】	○(議会)	大変だと思う。議員が声を掛けてほしい。議員のことは議員が詳しいと思うので。	待っていても若い人も出てこないの、後継者を作ることも必要かなと考えている。声掛けは結果的に自分の票を減らすことになるが続けていく。
1【議会】	○(議会)	女性議員をなんとか見つけてほしいが、昔の女性議員は組織を背負っていた。一般の人は難しいし、議員のことは頭の片隅にもないと思う。町内団体の役員など、やらされても引っ張って行く人がいれば良いが。	団体の役員はやらされても仕方がないが良いが、議員となるとはそうはいかないと思うので難しい。
2【熊関係】	☆(説明済)	冬眠している時期なのに出没していると聞いている。怖いと思う。	最近は冬眠しない熊もいるようなので注意してほしい。
2【熊関係】	☆(説明済)	熊対策、ゴミの出し方だが、福島町はいまだに個人でゴミステーションを用意しているのがほとんど。役場にも言っているが、町内会単位で町が設置してはどうかと思っている。去年、道総研からそういった対応をしている町の例も見せてくれたので、福島でも一気にではなくても長いスパンで設置していく必要があると思うが議員はその辺議論していないのか？	昨年の事故後の委員会や別件のゴミの減量化の委員会等で、そのことについては議論しているが、町で設置するというような結論はできていません。
3【教育】	☆(説明済)	今、町外から来ている生徒が自分の母校の中学校等についてPRとかしていないのか？	自分の母校ではないですが、高校生が自ら東京や札幌で学校をPRしています。しっかりとやってきています。
3【教育】	☆(説明済)	高校の生徒、今年は集まったのか？	15人の応募があり、その内地元は1名と聞いている。全国からは来てくれているようだ。
3【教育】	☆(説明済)	地元の生徒が少ないから仕方がないが、さみしい。 自分の孫に福島の学生には色々資格をとるときの補助があるよと言うと、良いなど返事はするが、なかなか難しい。	自動車免許の取得に係る費用など、町内の学校の生徒に限定しているものの補助制度は良いと思います。 生徒の中には自分の親が福島町出身で祖父母の所から通っている子もいる。
3【教育】	☆(説明済)	友好市町との交流事業を行っているが、そういったところからは来ないのか？ そういった所から来てくれると交流のしがいもあると思うが。	全国から来てくれているが、今のところ友好市町から来た例はないです。
9【その他】	☆(説明済)	ゴミの量、なぜ福島町は多いのか。産業が関係しているか？ 逆に渡島で一番少ないのはどこか？	産業形態が影響しているかもしてないが、はっきりとした要因は不明です。 資料では渡島で一番少ないのは北斗市になっています。
9【その他】	☆(説明済)	北斗市はごみの分別を徹底的に行っていると聞いている。 先日、役場から電動生ごみ処理機のPRや分別の説明があった。このような取り組みは継続して行ってほしい。	担当課には伝えます。